



マルチリンガル・アパレルCAD
パターン検索配信システム

パタパタモードくん

<ビュープリント>
操作マニュアル

2010年9月30日版

J.C.Systems, Inc.

目次

はじめに	P. 1
画面の表示操作方法	P. 6
共通コマンド	P. 12
パターンメイキング<作図>	P. 42
パターンメイキング<修正>	P. 44
グレーディング	P. 46
マーキング	P. 50

はじめに

＜パタパタモードくん＞ビュープリントは、パタパタモードくん CAD システムで作成したファイルをそのまま読み込み、出力することを目的としたソフトウェアです。パタパタモードくん CAD システム以外で作成したファイルは、TIIP DXF または DXF 形式に変換することで、ファイル読み込みと出力ができます。また、オプション申し込みをすると、マーキングソフトが1ヶ月単位（3,150円）で利用できます。

このマニュアルには、ビュープリントで使用できる機能の操作方法と、オプションのマーキングソフトの操作方法が記載されています。

＜基本操作について＞

◆＜パタパタモードくん＞を起動する

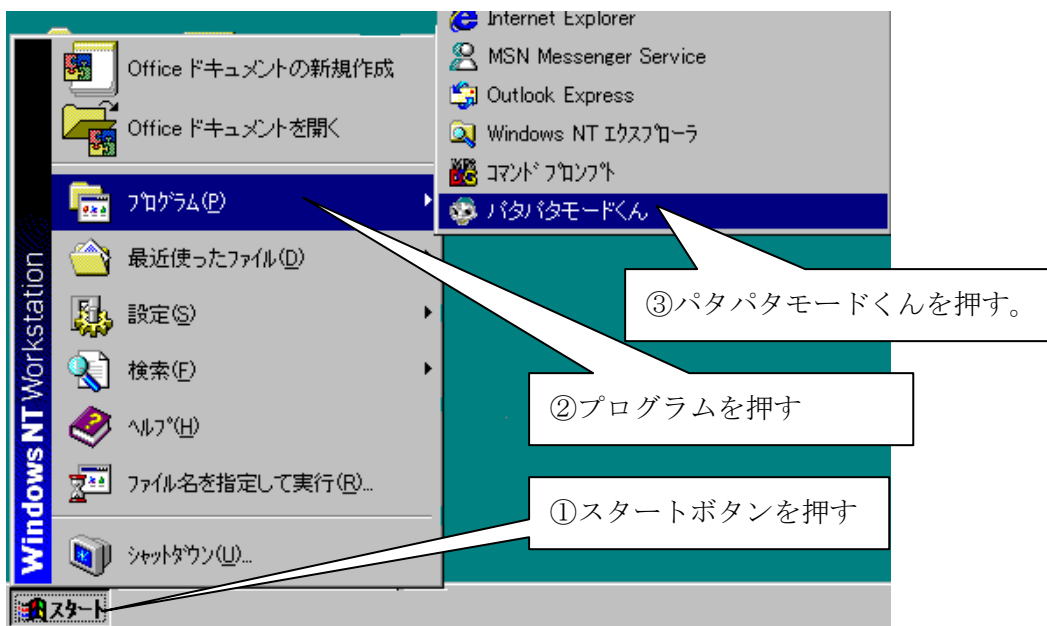
起動の仕方は以下の2通りです。

1. ＜パタパタモードくん＞のアイコンをダブルクリックします。

＜アイコンのイメージ＞

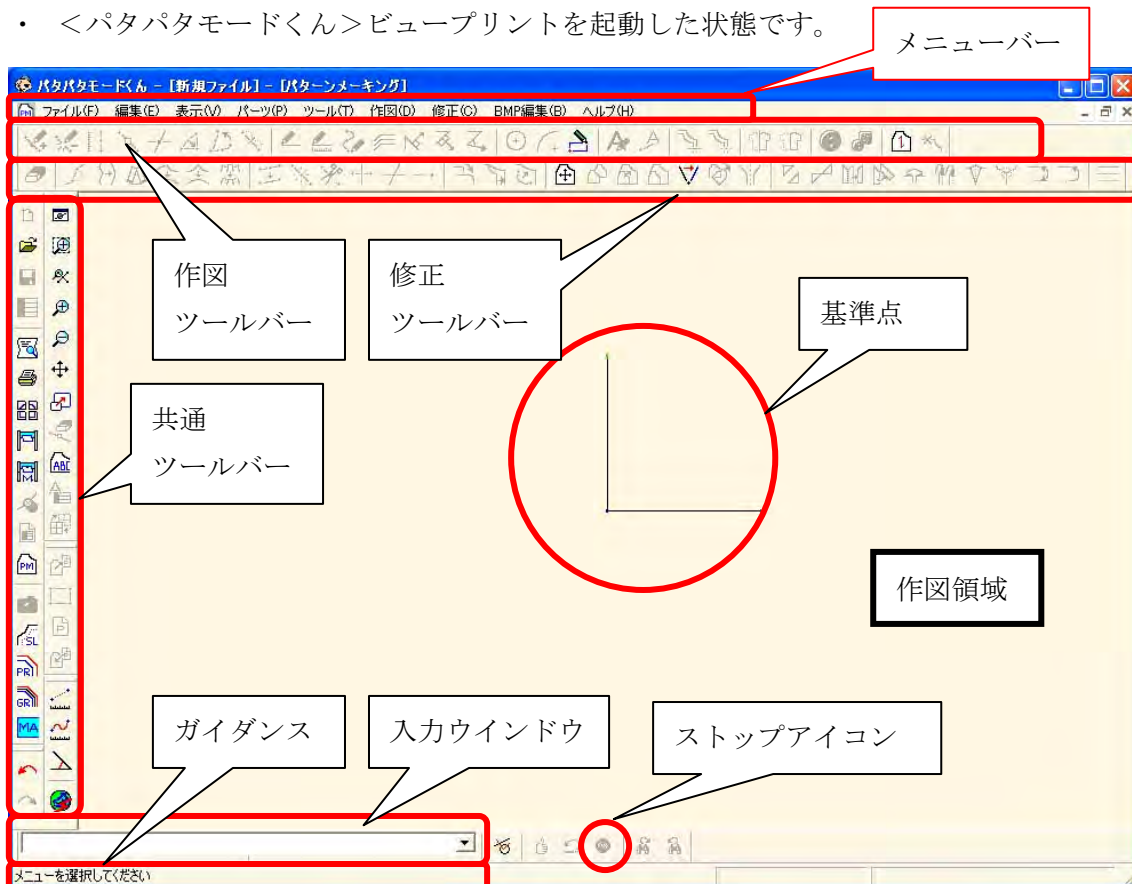


2. 「スタート」 → 「プログラム」 → 「パタパタモードくん」 をクリックします。



●メインウインドウ

- ・ <パタパタモードくん>ビュープリントを起動した状態です。



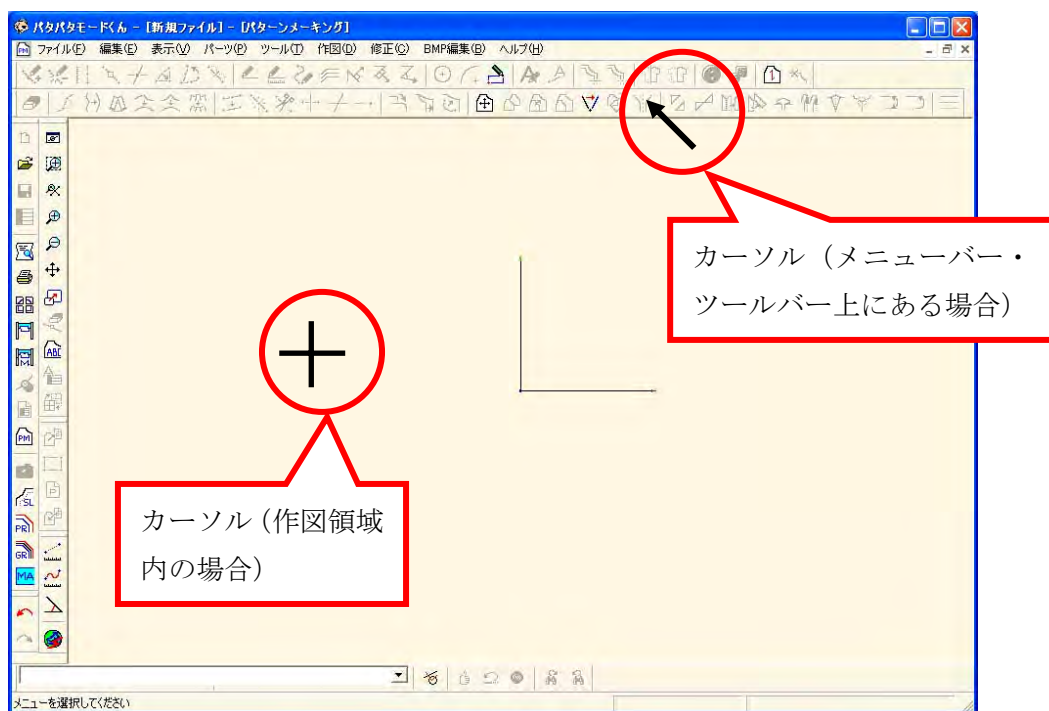
●各画面の説明

- メニューバー・・・コマンドを選択して実行できます。操作については後の「コマンド実行の方法」で説明します。
グレーで表示されているコマンドは、コマンド名と説明のみ表示されますが、ビュープリントでは使用できません。
- 作図領域・・・実際に図面が描かれる領域です。この領域はズーム機能を利用することにより図面全体から細部まで自由な表示範囲を選ぶことができます。
- ツールバー・・・よく使われるコマンドがボタン化されています。ボタンをクリックすると、それぞれのコマンドを実行できます。
グレーで表示されているコマンドは、コマンド名と説明のみ表示されますが、ビュープリントでは使用できません。
- 基準点・・・画面の基点 (0,0) と XY の方向を表示しています。プロッタ出力範囲の時に原点になります。
- 入力ウインドウ・・・長さや座標値といった数値を入力できます。
- ガイダンス・・・コマンドの内容や、次の操作手順、現在の状態などを表示します。

○ストップアイコン・・・ここを押すと、コマンドを途中でキャンセルできます。
 キーボードの「ESC キー」を押しても同様にキャンセルできます。

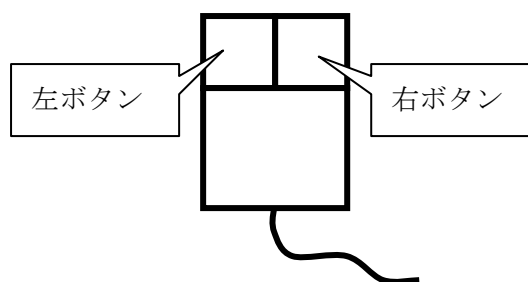
● マウスを動かしてみる

作図領域内でマウスを適当に動かしてみましよう。作図領域内では十字形のカーソルが表示されます。



● マウスボタンの操作方法

<パタパタモードくん>ではマウスの左ボタン、右ボタンの両方を使用して操作します。マウス操作には次の4つがあります。



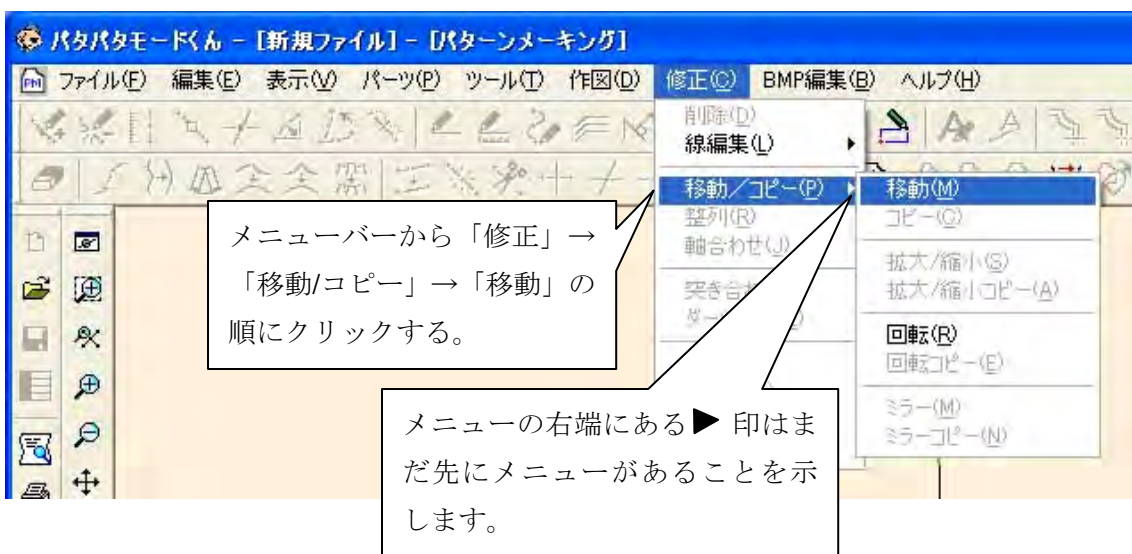
操作名	操作方法	用途
クリック	左ボタンを1回だけ押す	位置の指定・図形の指定 コマンド・メニューの指定
右クリック	右ボタンを1回だけ押す	選択した線の決定
ドラッグ	左ボタンを押した状態でマウスを移動し、最後にボタンを離す	図形の移動・位置の移動
ダブルクリック	左ボタンをすばやく2回押す	アプリケーションの起動

● コマンド（機能）実行の方法

コマンドを実行するためには、以下の2通りの方法があります。

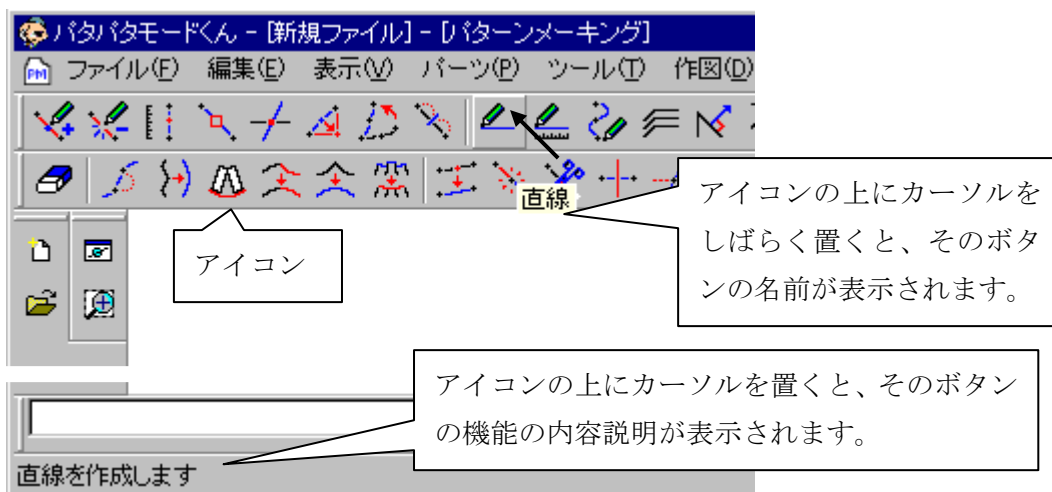
1. メニューバーからコマンドを選択する。

コマンドはグループに分けてメニューに登録されています。メニューバーのメニューをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。希望するコマンドをクリックして選択します。



2. アイコンをクリックする。

よく使うコマンドがすでにボタン化されているものを「アイコン」と言います。このアイコンをクリックすると、そのボタンに割り当てられたコマンドが実行されます。



※その他一部の機能ではキーボードからの実行も可能です。

●作図操作をはじめる前に

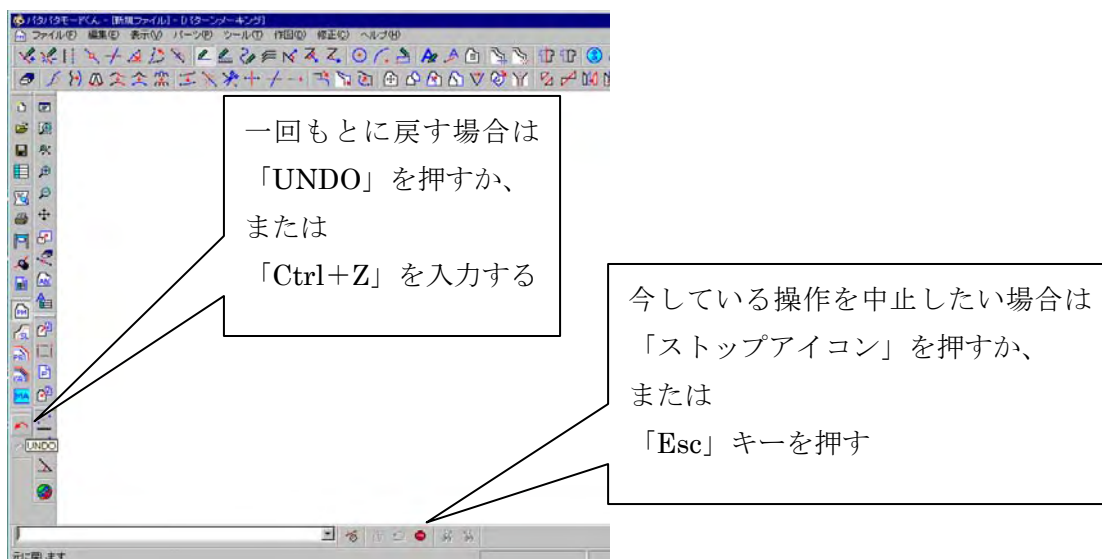
<間違った操作をしたり、途中でわからなくなった時は・・・>

心配ご無用です。

間違った操作をしてしまった時には画面の下方にある「ストップアイコン」をクリックするか、キーボードの「ESC キー」を押します。コマンドはその時点でキャンセルされ、<パタパタモードくん>は次のコマンド待ちの状態になります。

また、間違った作図結果を取り消す場合は「一回元に戻す」という意味の「UNDO」ボタンをクリックします。(または「Ctrl+Z」を入力します。これは「Ctrl キーを押しながら Z を入力する」という意味です。)

この操作で直前に入力された結果を取り消すことができます。

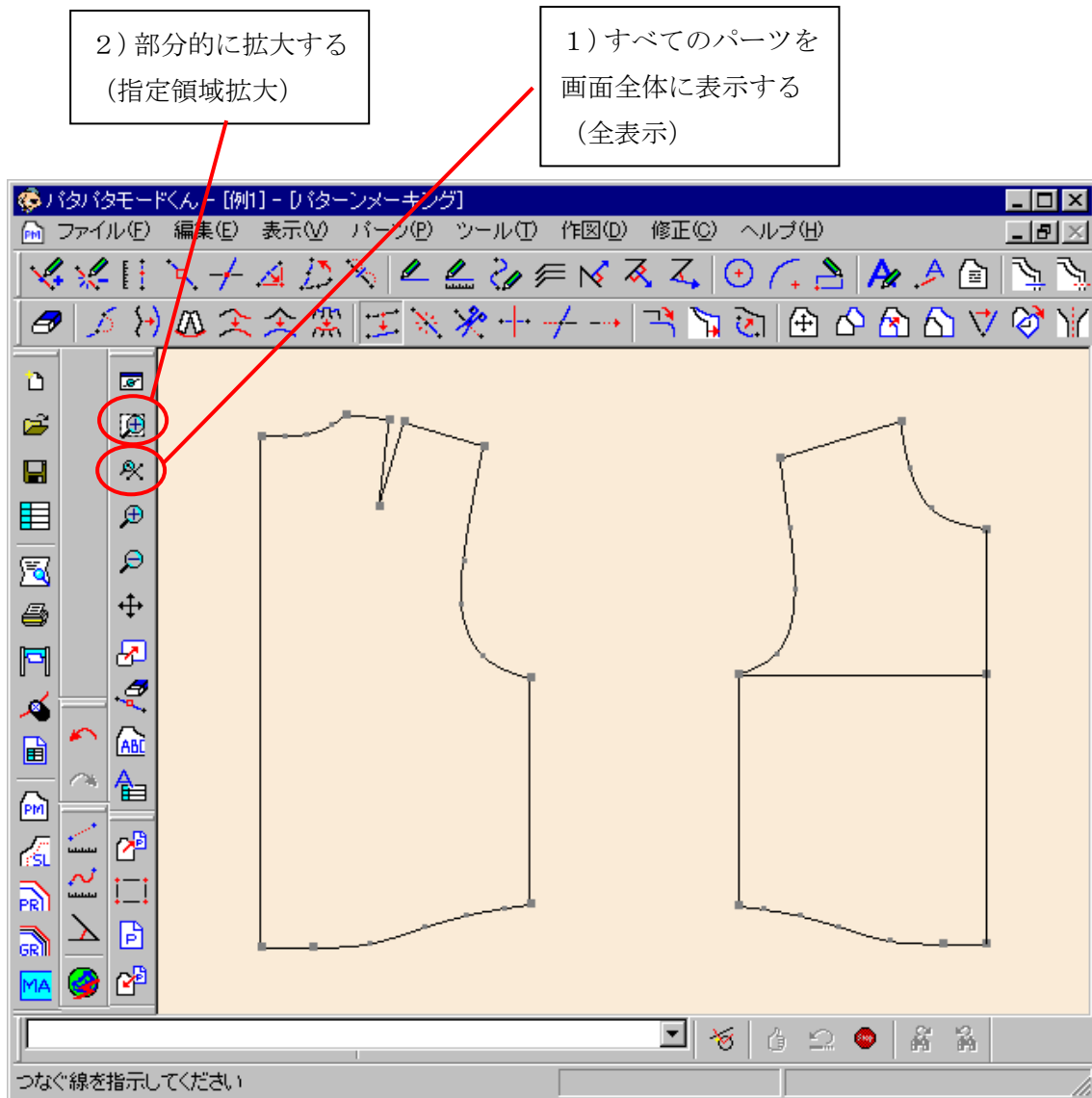


※注意！！

<パタパタモードくん>では UNDO は 1手順分ではなく、1メニュー分戻ります。ですので、いくつか作業している時に UNDO をすると、作業する前に戻ってしまうので注意してください。

画面の表示操作方法

<パタパタモードくん>での主な5つの表示方法を紹介します。



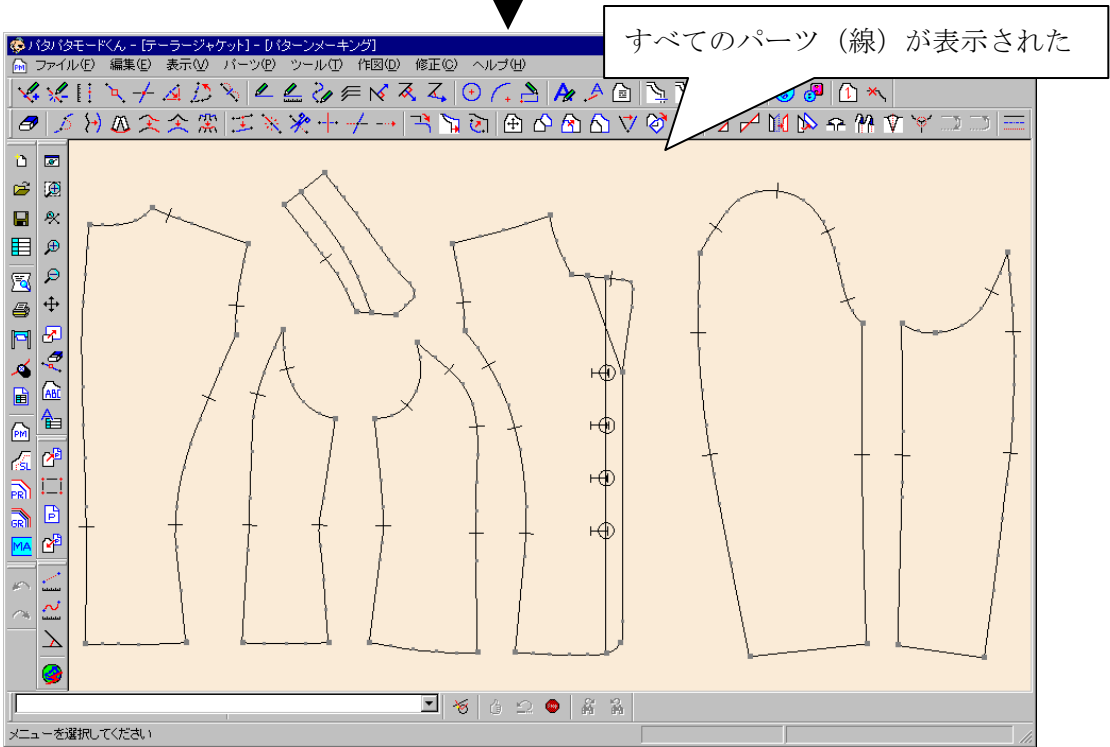
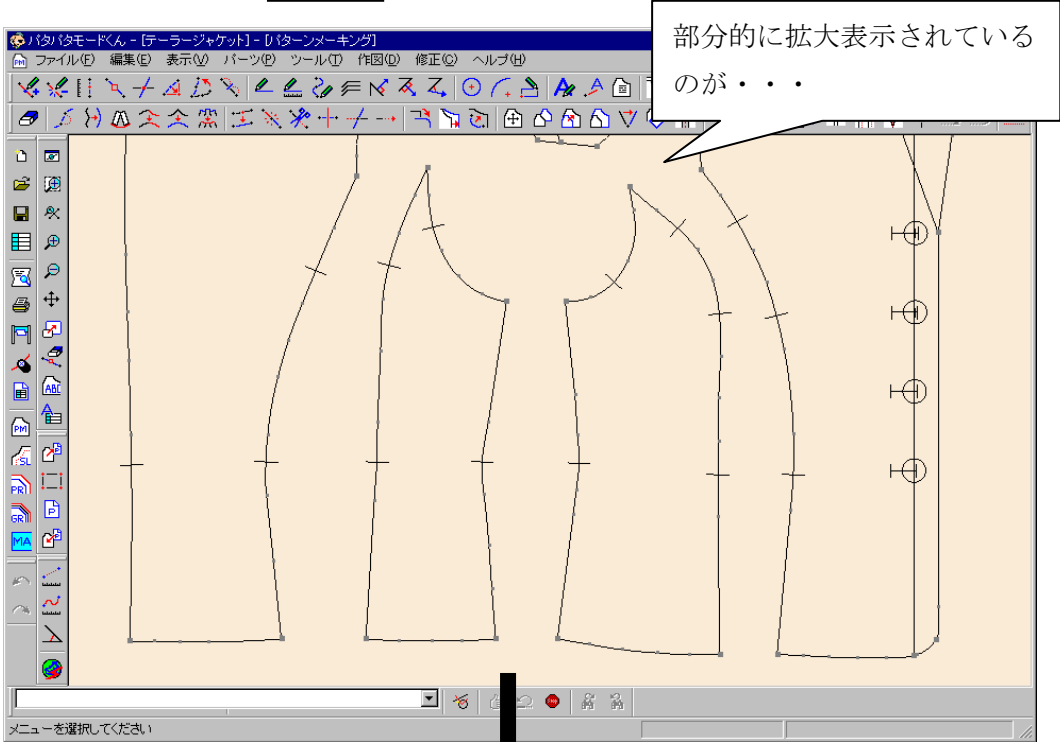
3) 位置を少し動かしたい
(リアルタイムパン)

4) 大きさを少し変えたい
(リアルタイムズーム)


5) 実寸大で表示したい
(倍率指定 100%)

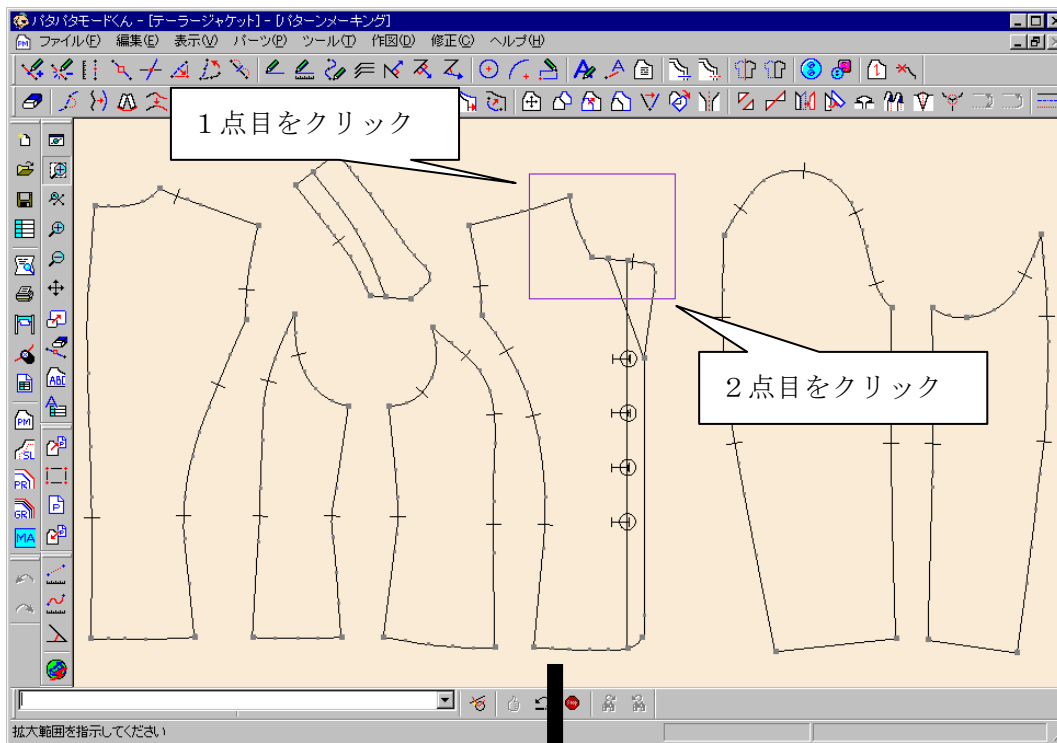
1) すべてのパーツを画面全体に表示する (全表示)

全表示のアイコン  をクリックします



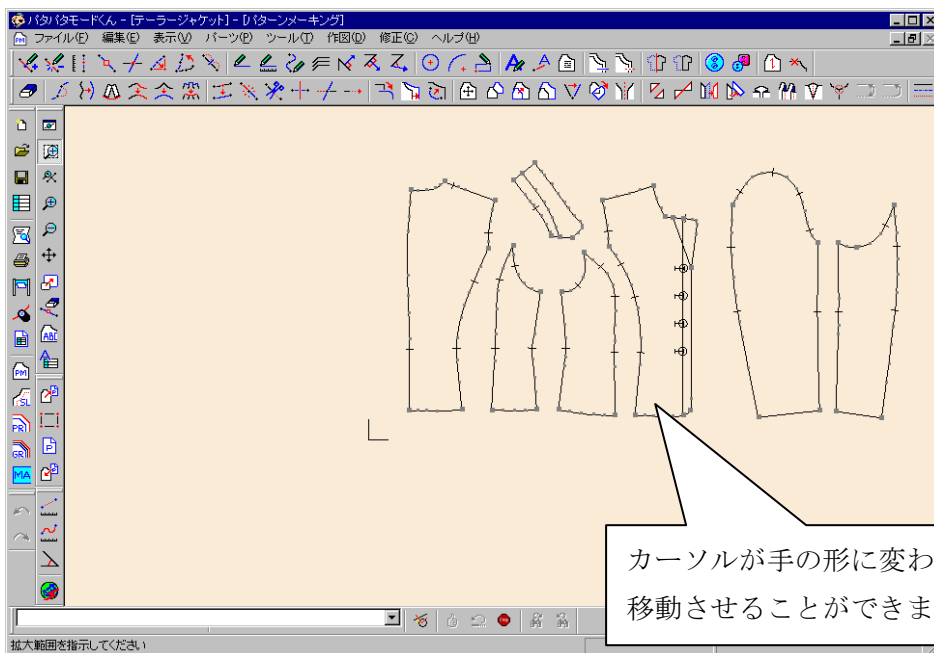
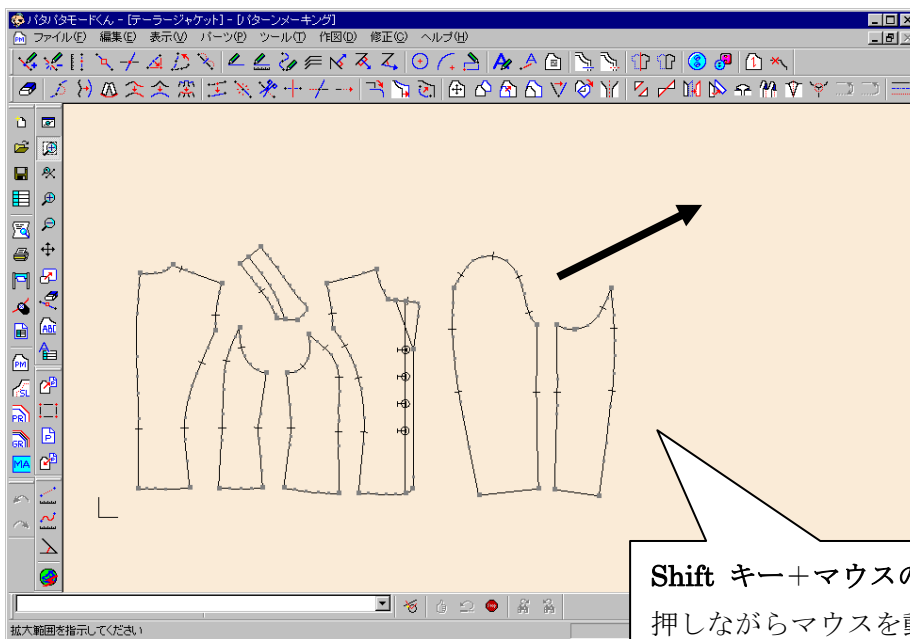
2) 部分的に拡大する (指定領域拡大)

① 指定領域拡大のアイコン  をクリックします



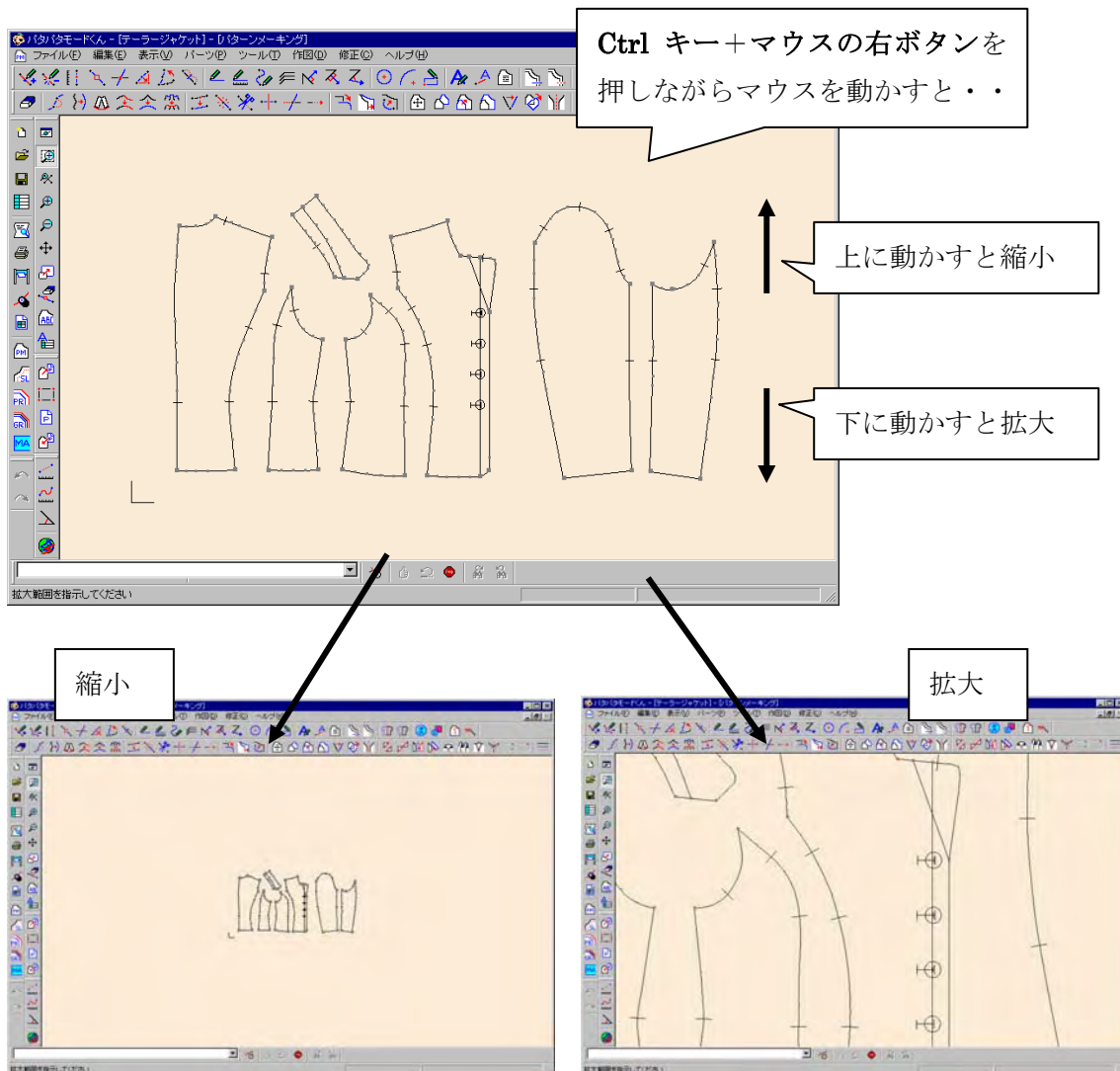
3) 位置を少し動かしたい (リアルタイムパン)

位置を見ただ目で動かしたい場合 (リアルタイムパンといいます) キーボードの **Shift** キーを押しながら、**マウスの右ボタン**を押しながら動かす (ドラッグ) と、カーソルが手の形になり、画面を動かすことができます。



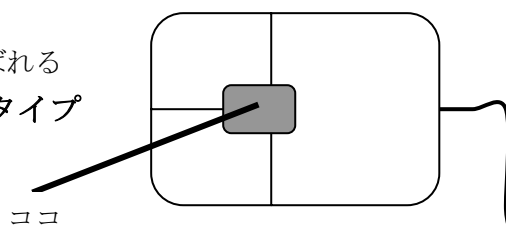
4) 大きさを少し変えたい (リアルタイムズーム)

表示の大きさを見ただ目で大きくしたり、小さくしたりしたい場合 (リアルタイムズームといいますが) キーボードの **Ctrl** キーを押しながら、マウスの右ボタンを押しながら動かす (ドラッグ) と、カーソルが虫眼鏡の形になり、表示の拡大・縮小ができます。



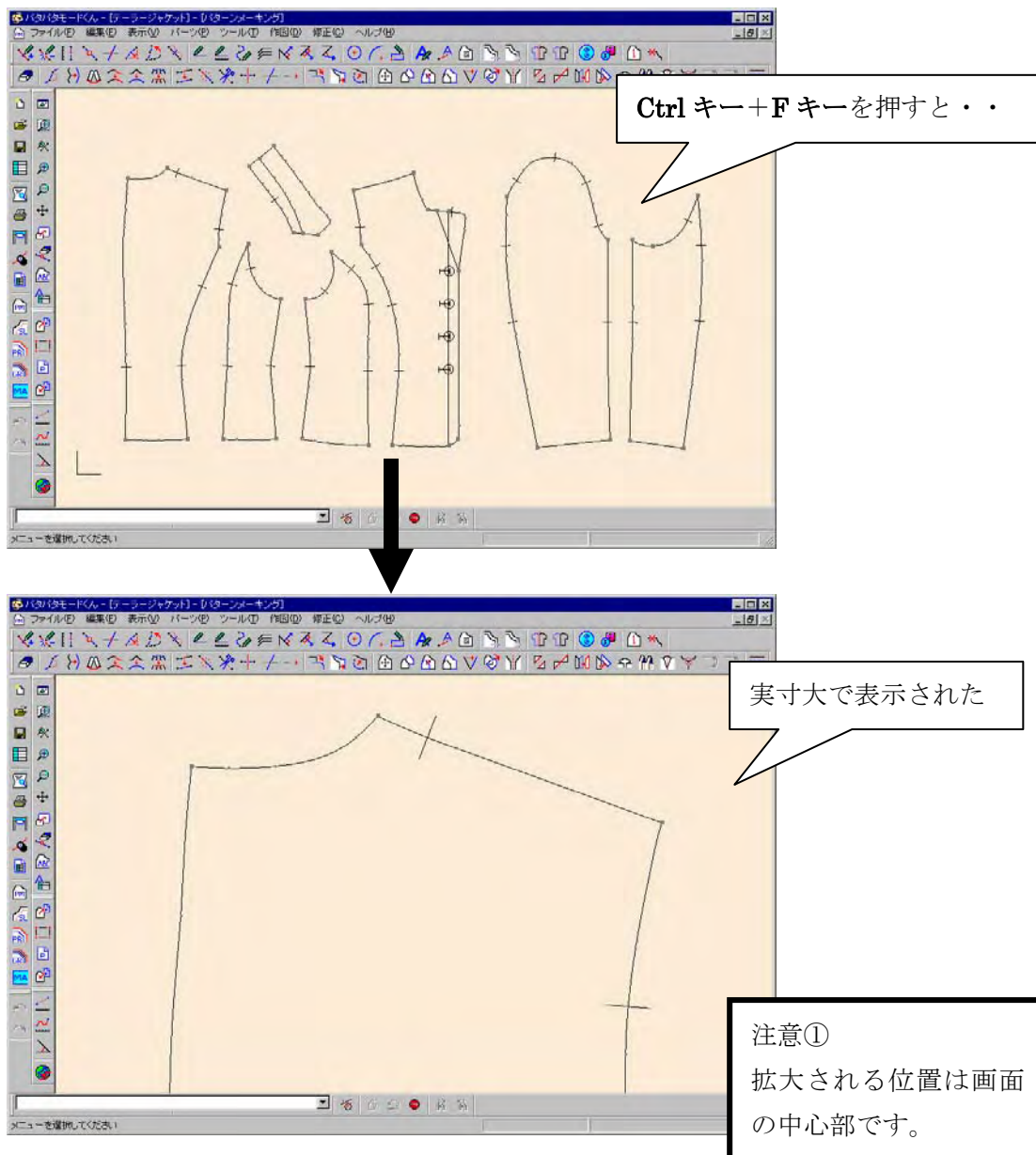
ポイント

使っているマウスが「インテリマウス」と呼ばれる真ん中にスクロールボタンの付いているタイプであれば、ボタンを回転させることでも拡大・縮小表示ができます。



5) 実寸大で表示したい (倍率指定 100%)

パターンは画面の中で、実寸大で描かれていますが、表示を実寸大にしたい時 (100%表示) はキーボードの **Ctrl キー** と **F キー** を同時に押すと、設定に応じて実物大に表示できます。



注意②

画面の大きさは「ツール」→「システム設定」→「モニタサイズ」で設定してください

● 共通コマンド（ファイル～ツール）

<パタパタモードくん>の特徴の一つとして、「画面を切り替えることで作業内容を変更できる」というものがあります。例えばパターンメイキングからグレーディングへ移る時にアイコンをクリックするだけで、画面を切り替えて作業を続けることができます。これにより、別ソフトを起動させてファイル操作をする必要がなく、1つのスタイルに対して1つのファイルを管理すれば良いのです。

作業内容を変更すると同時にメニューも切り替わるのですが、作業画面が変わっても切り替わらないメニューがあります。それが「共通コマンド」と呼ばれるメニューです。これらはファイルを保存したり、拡大表示したり、長さを測ったりと、どんな画面でも利用できるメニューになります。

ファイル、編集、表示、パーツ、ツール がそれにあたります。

この章では、共通コマンドのメニューについての機能を説明いたします。

● ファイル（F）

◆ 開く（ショートカットは Ctrl+O ）



作成されたファイルを開く

「ファイル」→「開く」

図面ファイルのダイアログボックスが表示され、開きたい図面のあるドライブ、ディレクトリ、ファイル名を選択し、確定ボタンをクリックする

ファイル名をクリックした際、選択したファイルをプレビュー画面で確認できる。

（ファイルの指定の仕方は通常の windows 操作と同じものとする。）

<ダイアログのイメージ>



詳細ボタンを押すと下記のダイアログが表示され、製品番号、ブランド名、品名、作者名が表示される。（ここでは表示のみ）閉じるボタンでウインドウを閉じる。

◆検索

作成したファイルを検索する

「ファイル」→「検索」

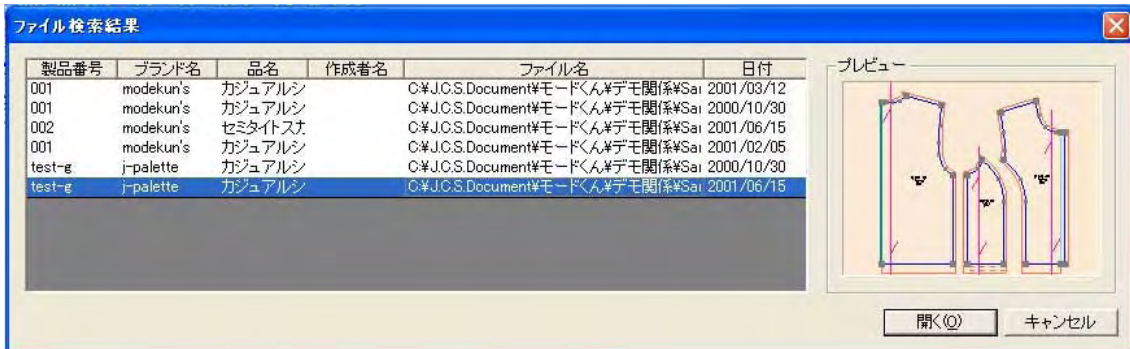
ダイアログボックスが開く。検索したい項目のタブをクリックし、検索事項をそれぞれ入力。検索実行ボタンを押すと検索結果一覧表が表示される。開きたいファイルを選択し、OK ボタンを押し、開くボタンを押すとファイルが開く。

<ダイアログのイメージ>

The image displays three screenshots of the 'File Search' dialog box, each with a callout box explaining its search capabilities.

- Top Screenshot:** The '名前/日付/場所' (Name/Date/Location) tab is selected. It includes fields for 'ファイル名(N)' (File Name), '日付(D)' (Date) with a range from '00/01/01' to '00/02/17', and '探す場所(L)' (Search Location) set to 'C:\work\demosample'. A checkbox 'サブフォルダも探す(S)' (Search subfolders) is checked. A callout box states: 'ファイル名、作成日、ドライブやフォルダから検索する場合 (プルダウンで選択でき、作成日も範囲選択が可能)' (When searching by file name, creation date, drive, or folder (can be selected with pull-down, and creation date range selection is possible)).
- Middle Screenshot:** The '詳細情報' (Detailed Information) tab is selected. It includes dropdown menus for '製品番号(S)' (Product Number), 'ブランド名(B)' (Brand Name), '品名(I)' (Item Name), and '作成者名(C)' (Creator Name). A checkbox '大文字/小文字の区別(D)' (Case Sensitive) is present. A callout box states: '製品番号、ブランド名、品名、作成者名から検索 (プルダウンで選択できる)' (Search by product number, brand name, item name, or creator name (can be selected with pull-down)).
- Bottom Screenshot:** The '基本サイズ' (Basic Size) tab is selected. It includes a '基本サイズ(B)' (Basic Size) dropdown and three rows for '項目1(I)' (Item 1), '項目2(O)' (Item 2), and '項目3(S)' (Item 3), each with a 'のサイズが' (Size is) dropdown and numerical input fields for a range. A callout box states: '基本サイズの仕上がり寸法値から検索 (項目はプルダウンで選択でき、数値も範囲選択が可能)' (Search by basic size finishing dimension values (items can be selected with pull-down, and numerical values also support range selection)).

上記の検索項目に必要な事項を入力し、検索実行のボタンを押すと下記の検索結果一覧表が表示される。



- 検索項目に該当するファイルが一覧で表示される。
- ファイルを選択するとプレビュー画面にて確認ができ、選択したいファイルを開く場合はOK ボタンを押す。
- 元の検索の画面に戻り、開くボタンを押すと選択したファイルを開くことができる。

◆印刷プレビュー

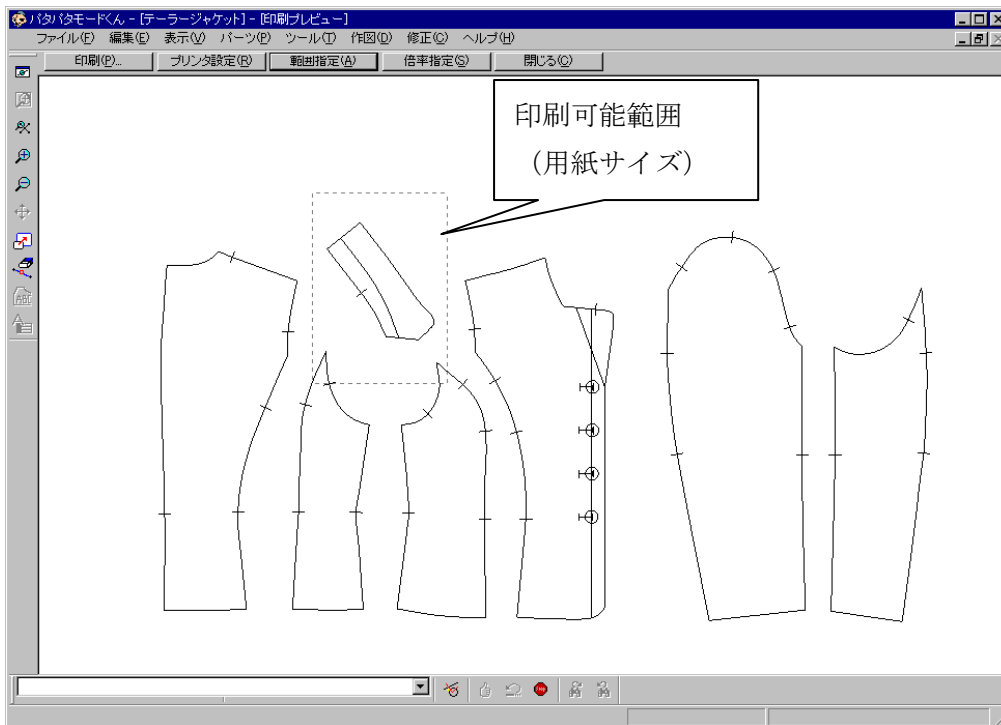
印刷した時の状態を表示する。

「ファイル」→「印刷プレビュー」

下記のダイアログボックスが表示される。



プレビュー画面イメージ



「印刷」・・・プリント開始。

「プリンタ設定」・・・プリンタの選択や、用紙サイズの変更などができる。

「範囲指定」・・・プリントできる範囲（用紙サイズ）を表示し、クリックした位置の範囲を出力できる。

マウスのスクロールボタンを動かすと倍率の変更ができる。

「倍率指定」・・・倍率を変更できる。

「閉じる」・・・プレビュー画面を閉じる。

※ 印刷設定は「プリンタの設定」のコマンドでも行うことができる。

※ 左にある表示のツールバーでアイコンをクリックして、表示の大きさを変えることも可能（グレーになっているものは使用不可）

◆印刷（ショートカットは Ctrl+P ）

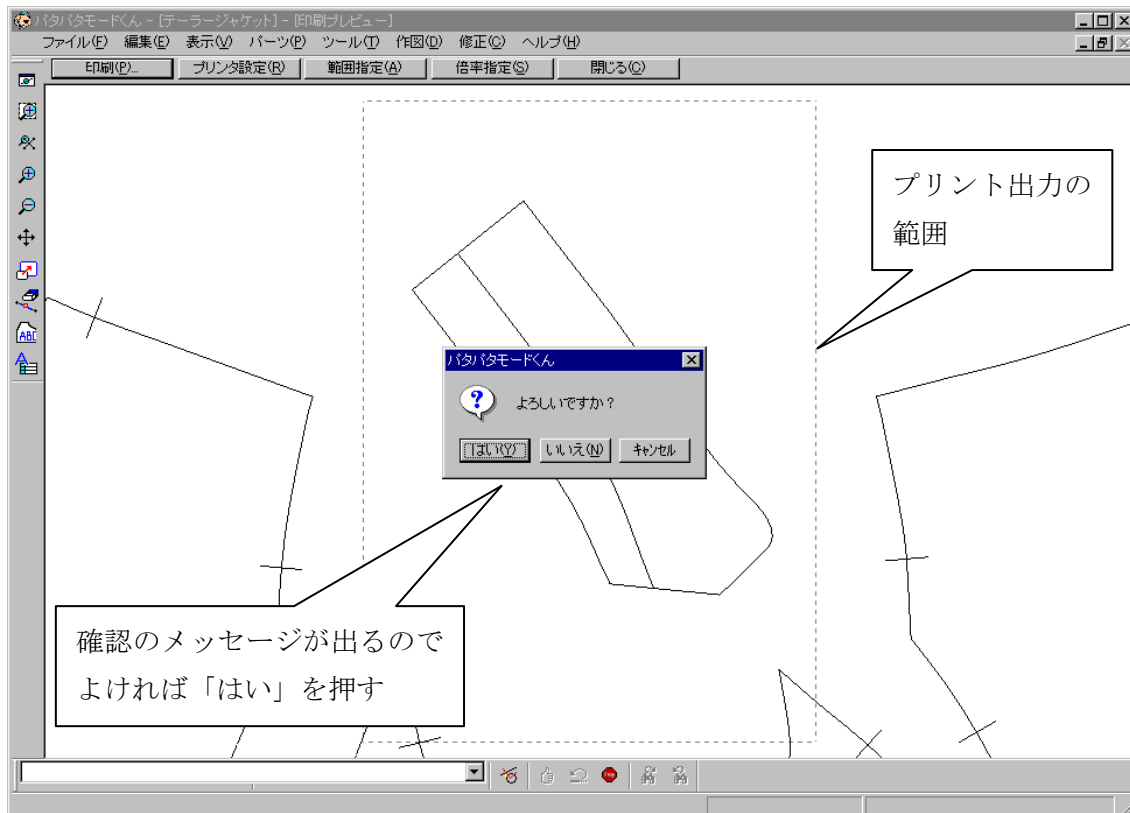
図面をプリントアウトする。

「ファイル」→「印刷」

プレビュー画面に切り替わり、確認のメッセージが出るので「はい」を押す。

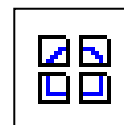


ダイアログ画面イメージ

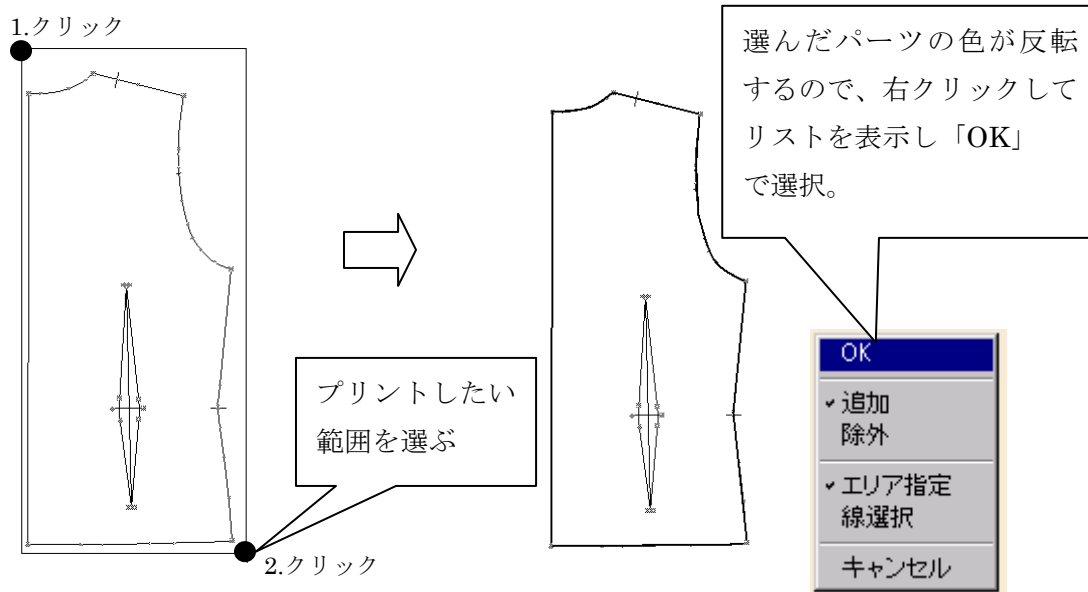


◆パズルプリント

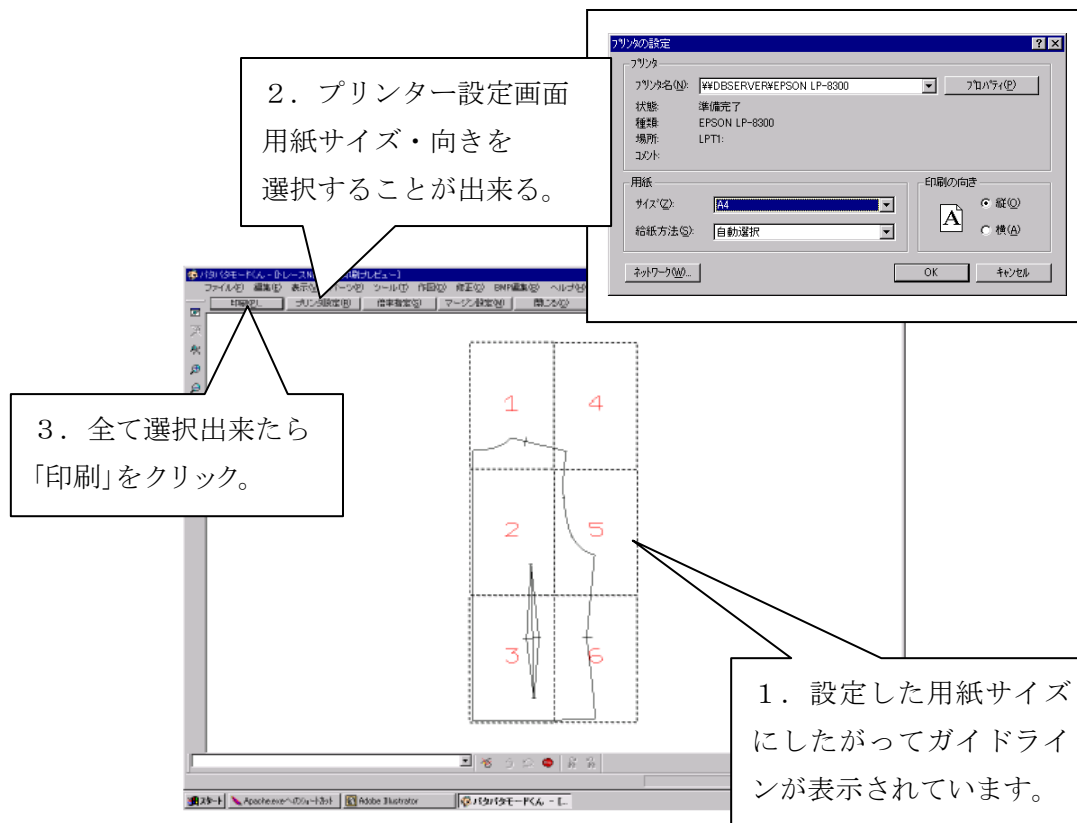
1. 「パズルプリント」アイコンをクリックし 出力したい範囲を囲むように2点クリックして選択し、右クリックして「OK」を押す。



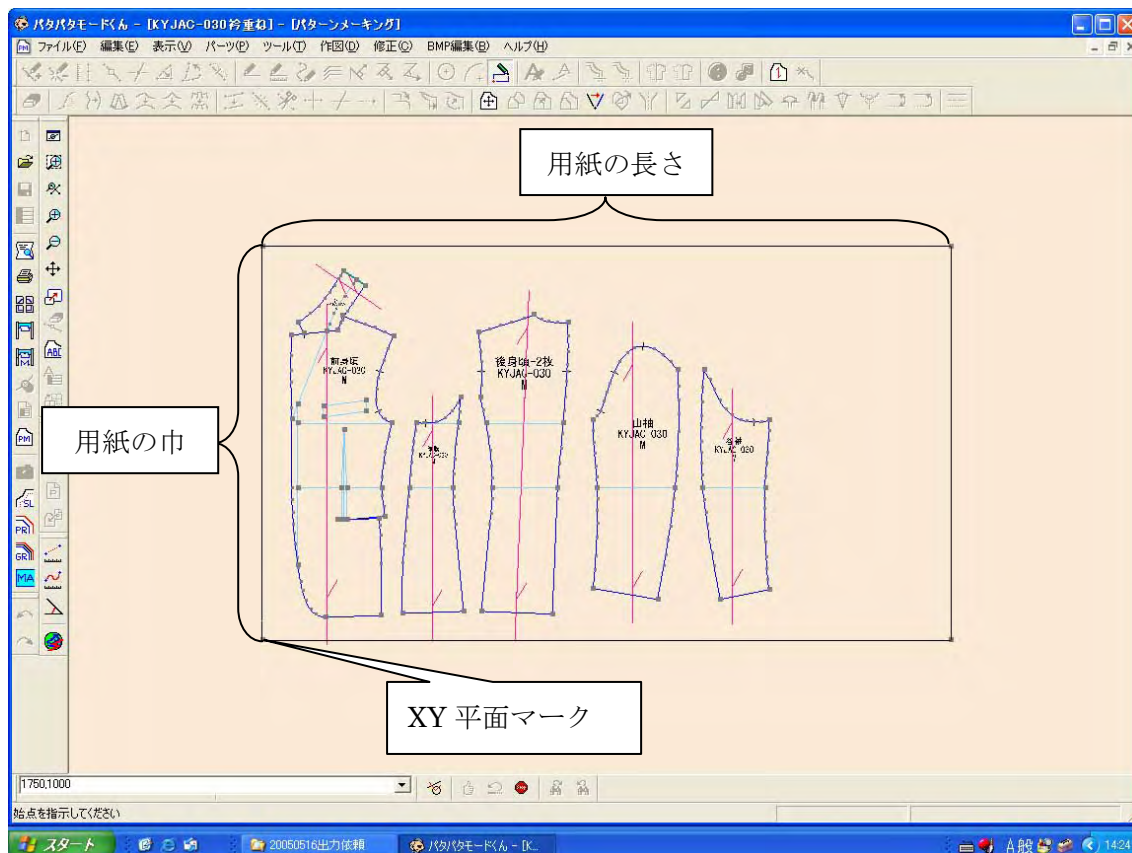
ワサの箇所がある場合は、展開するかどうかの確認ダイアログが表示されるので、「はい」か「いいえ」をクリックすると、印刷プレビューが表示される。



2. 印刷プレビュー画面が表示されます。



プロッタ出力の範囲



XY 平面のマークを基準にして、右上にある要素の中で、用紙に入る部分のみを出力します。用紙サイズの四角を作成して、出力したい要素を枠内に入れるように配置してから、プロッタ出力ボタンを押してください。

※四角を書く場合、1点目は、クリックせずに、入力ウインドー内に

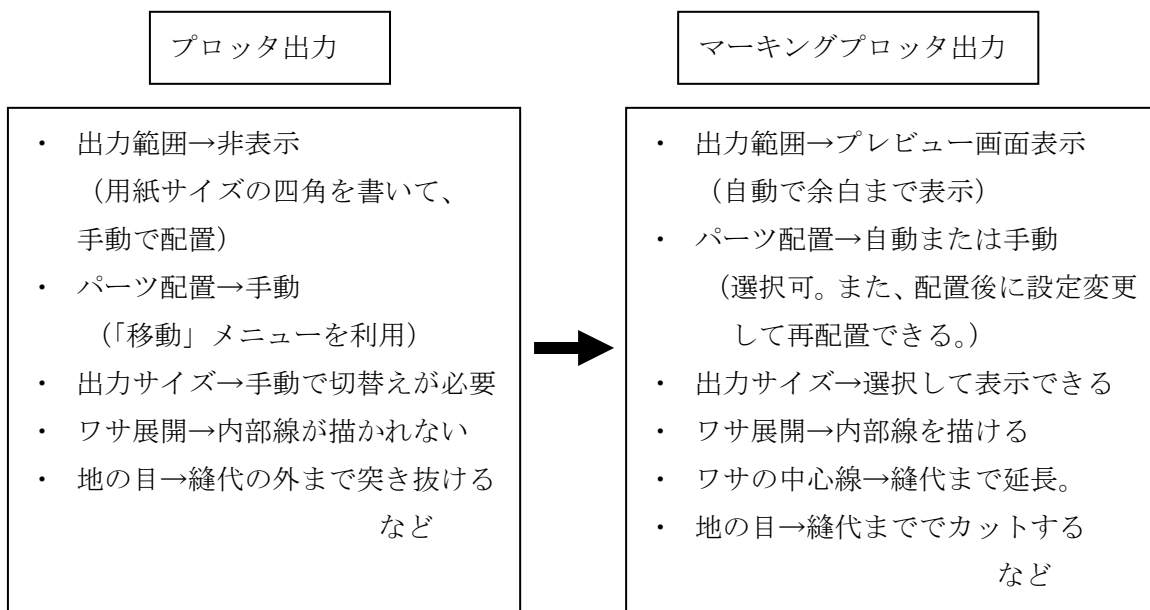
(0,0) ゼロ コンマ ゼロと入力し、エンターを押すと、XY 平面マーク上にポイントを乗せることができます。

◆マーキングプロッタ出力

※ マーキングプロッタ出力とは

パーツ、サイズを選択し、自動で用紙範囲内にパーツを配置してプロッタ出力できる機能

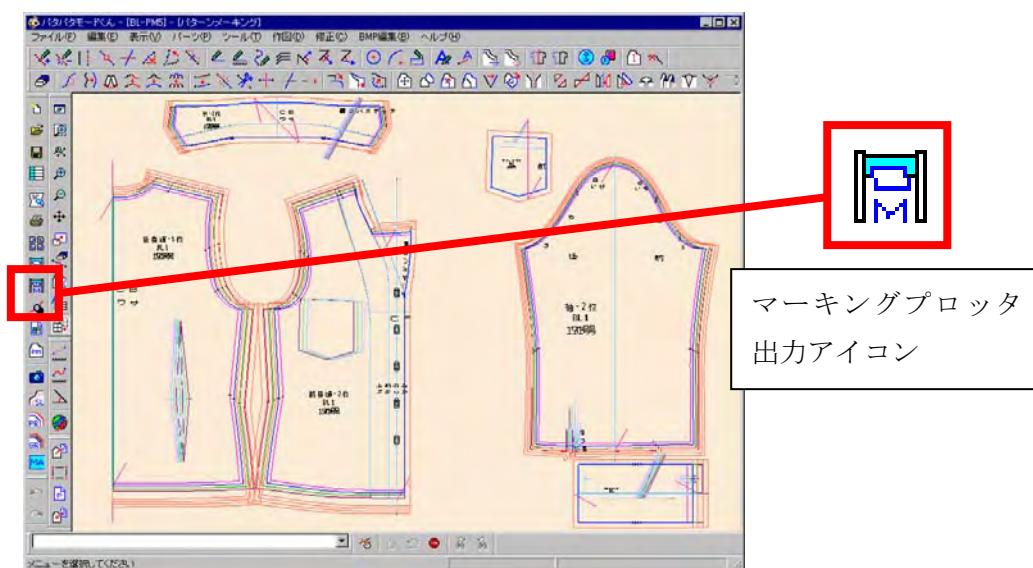
※ 「プロッタ出力」と「マーキングプロッタ出力」との比較



※ 操作方法

1) マーキングプロッタ出力のメニューをクリックする。

または、アイコンをクリックする。



2) プロッタレイアウトの画面が表示される。(下図)

必要な項目に数値を入力したり、チェックボックスをクリックして、配置したいパーツやサイズ、状態を選択する。(手順は1~7)

1.用紙の幅、長さを入力する。
※長さは1200~2000mm程度が推奨

2.パーツ間の間隔を入力する。

3.余白の幅を入力する。

4.出力サイズを選択する。
全サイズ指定する場合は「全て選択」をクリックする。
(再度クリックすると解除される)

5.出力パーツを選択する。
全パーツ指定する場合は「全て選択」をクリックする。
(再度クリックすると解除される)

The dialog box 'プロッターレイアウト' contains the following fields and options:

- 配置条件**
 - 用紙サイズ 幅(W) 900 mm 長さ(L) 1600 mm
 - 最小パーツ間隔(G) 10 mm
 - 上下マージン(M) 20 mm
 - 出力開始位置(P) 20 mm
- 出力サイズ**
 - 11号
 - 13号
 - 7号
 - 9号
- 出力パーツ**
 - ポケット
 - 衿
 - 後身頃
 - 前身頃
 - 袖
 - 袖口カフス
- 配置方法**
 - マーキング設定
 - コピー設定

6.パーツ名の表示・非表示、ワサの展開、ワサ展開時の内部線の表示・非表示を設定する。

7.マーキング設定またはコピー設定のいずれかを指定する。必要に応じて「横にする」「重ね書き」にチェックをつける。

8.すべての項目に入力ができたら、自動配置または手動配置を選択する。

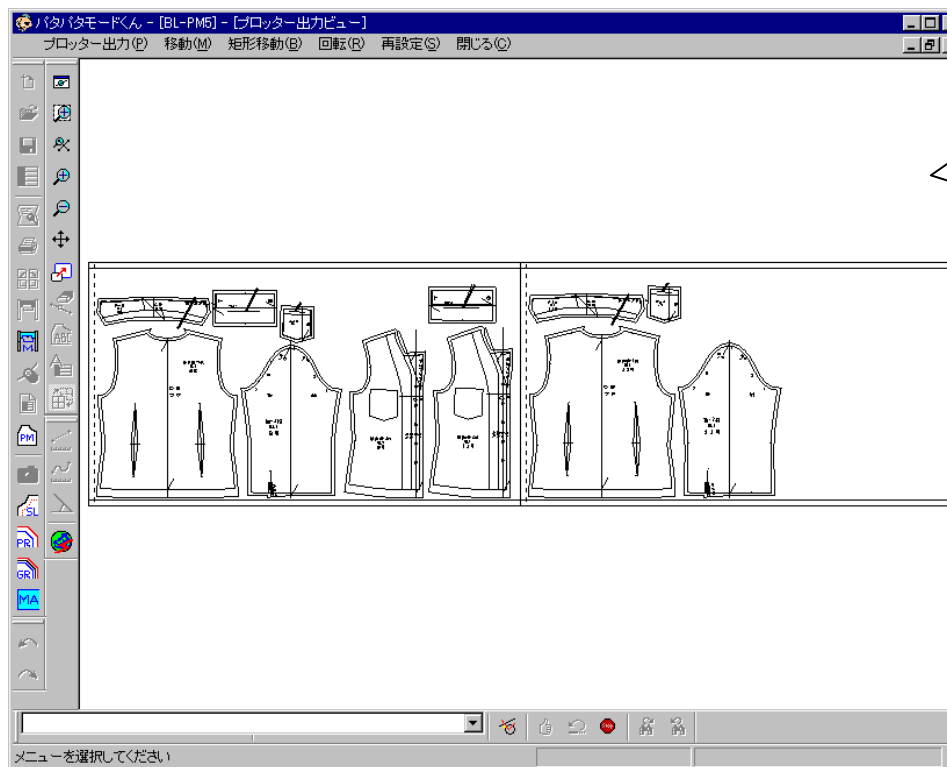
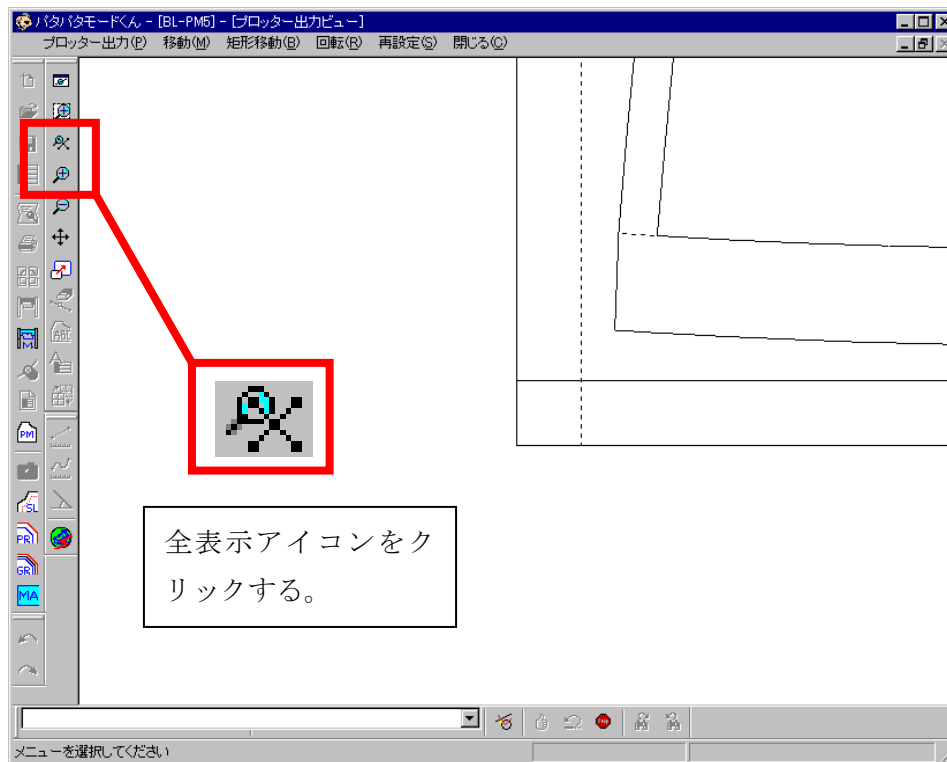
The dialog box 'プロッターレイアウト' contains the following fields and options:

- 配置条件**
 - 出力開始位置(P) 10 mm
- ボタン**
 - 自動配置
 - 手動配置
 - キャンセル
- パーツ出力仕様**
 - パーツ名
 - ワサ展開 内部線
- 配置方法**
 - マーキング設定
 - コピー設定
- Option**
 - 横にする
 - 重ね書き

※コピー設定の場合にはカットできません

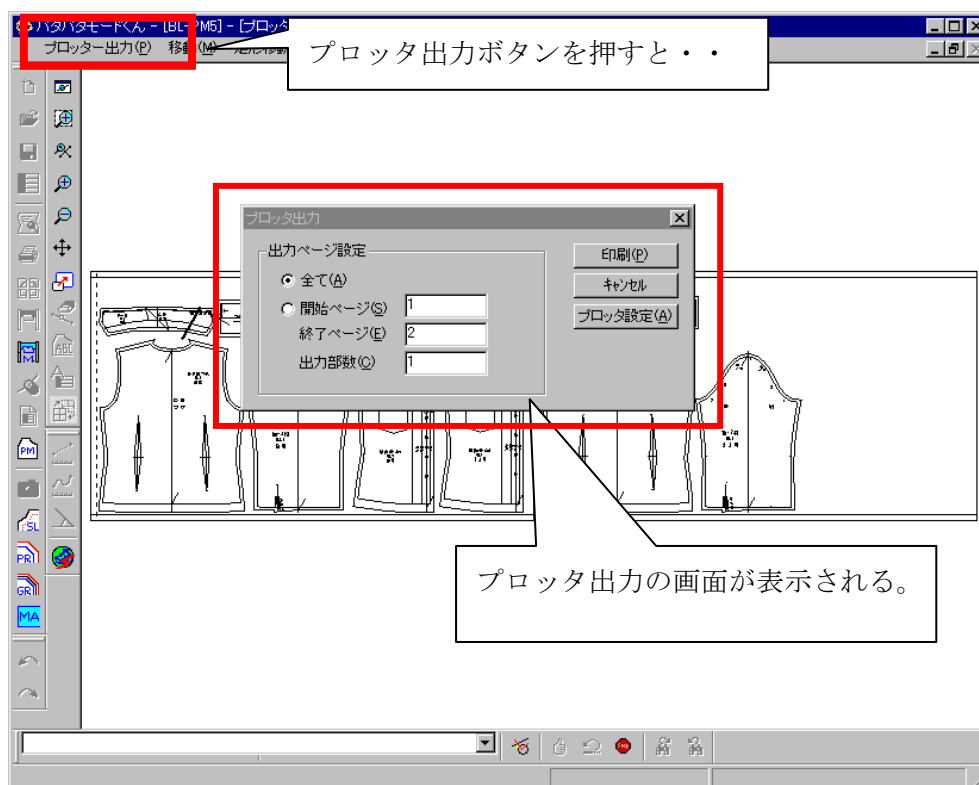
3) 「プロッタ出力ビュー」画面に移動する。(下図)

一部拡大された状態で表示されているので、まず、「全表示」のアイコンをクリックする。



4) そのままの配置でよければ、「プロッター出力」ボタンを押す。

プロッタ出力の画面が表示されるので、出力したいページを選択する。パーツカットの有無はプロッタ設定のボタンをクリックして指定する。全て選択できたら印刷ボタンを押す。



プロッタ出力画面拡大図



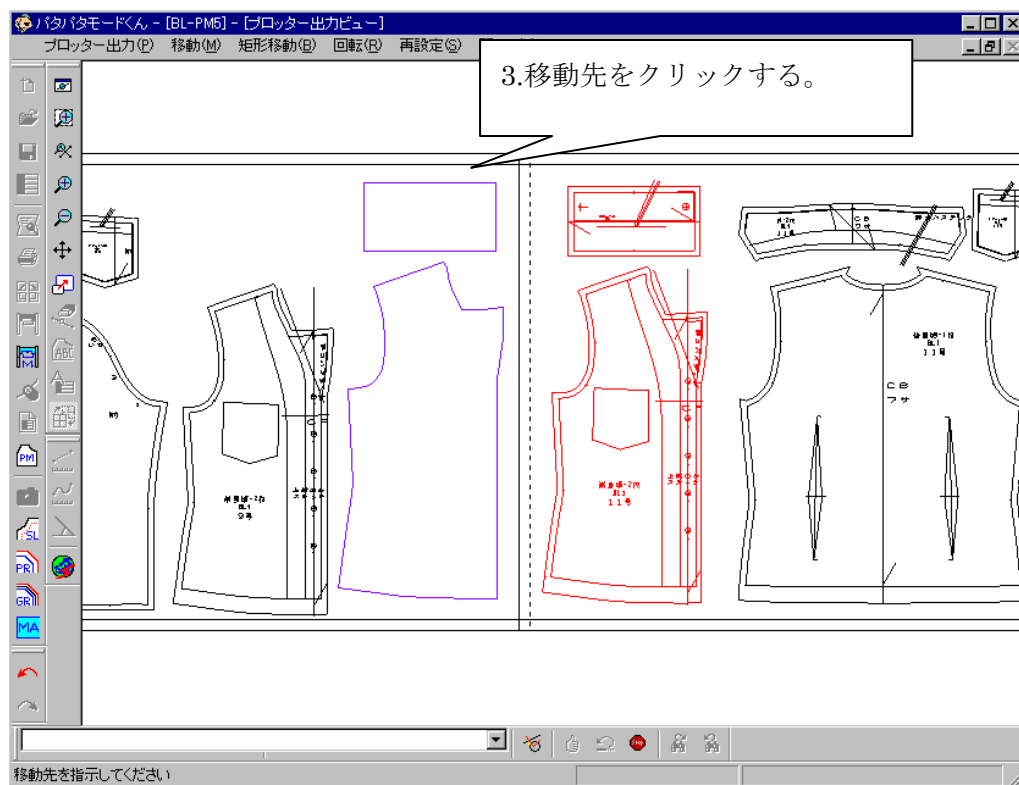
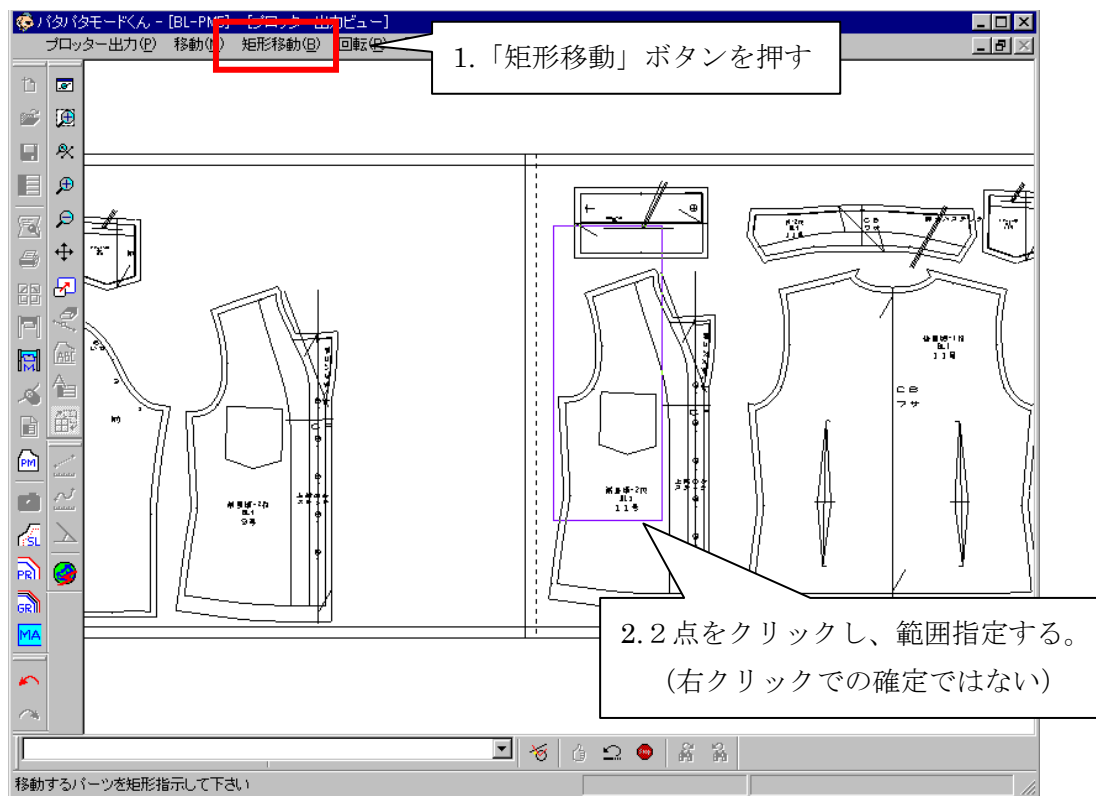
備考：プロッタ設定画面



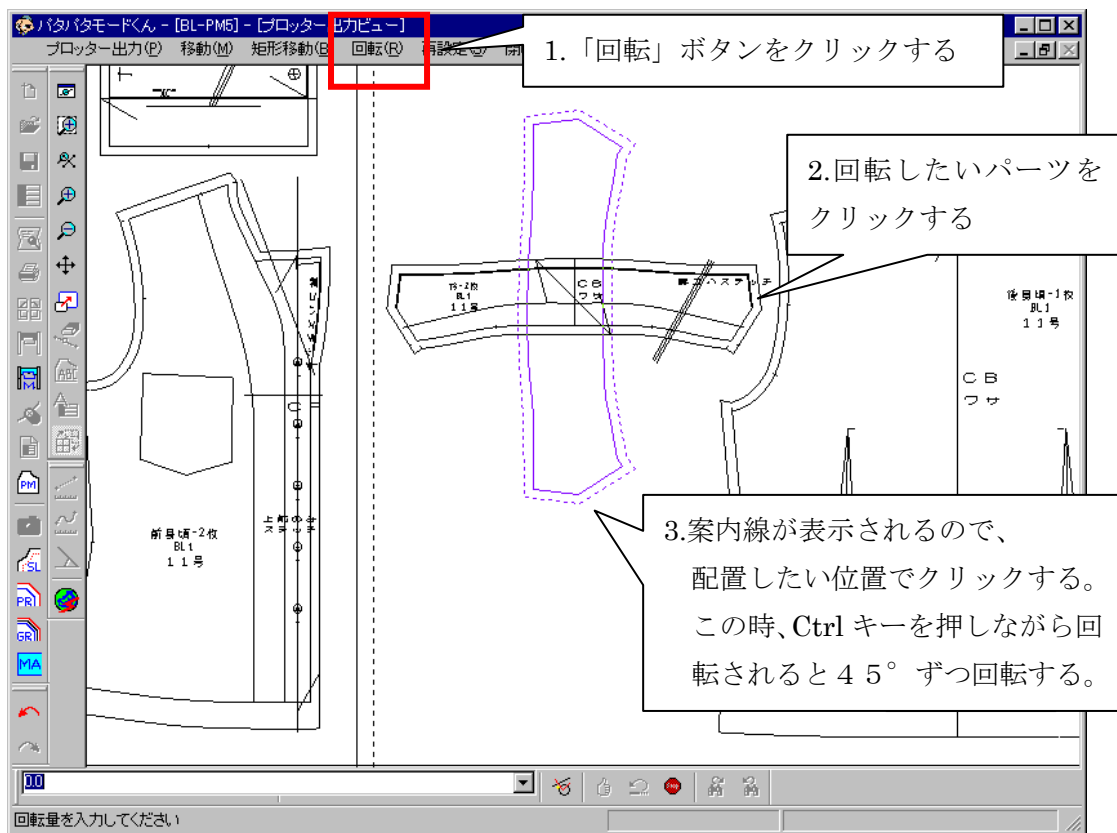
※ パーツを移動する場合（１）



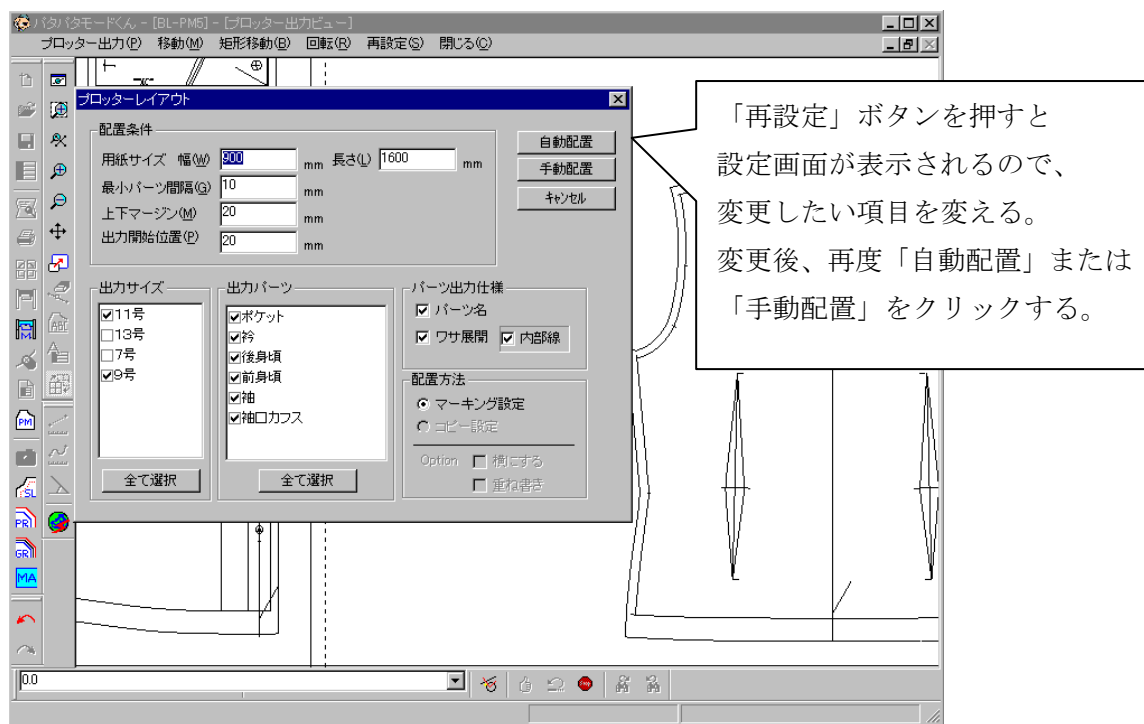
※ パーツを移動する (2)



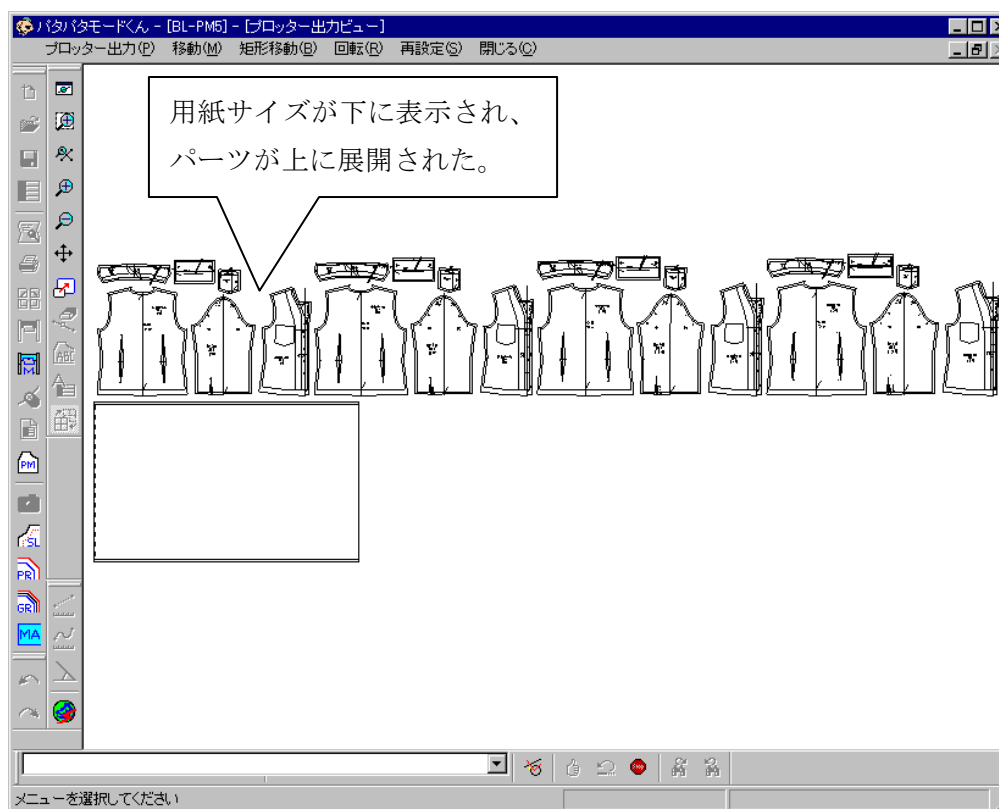
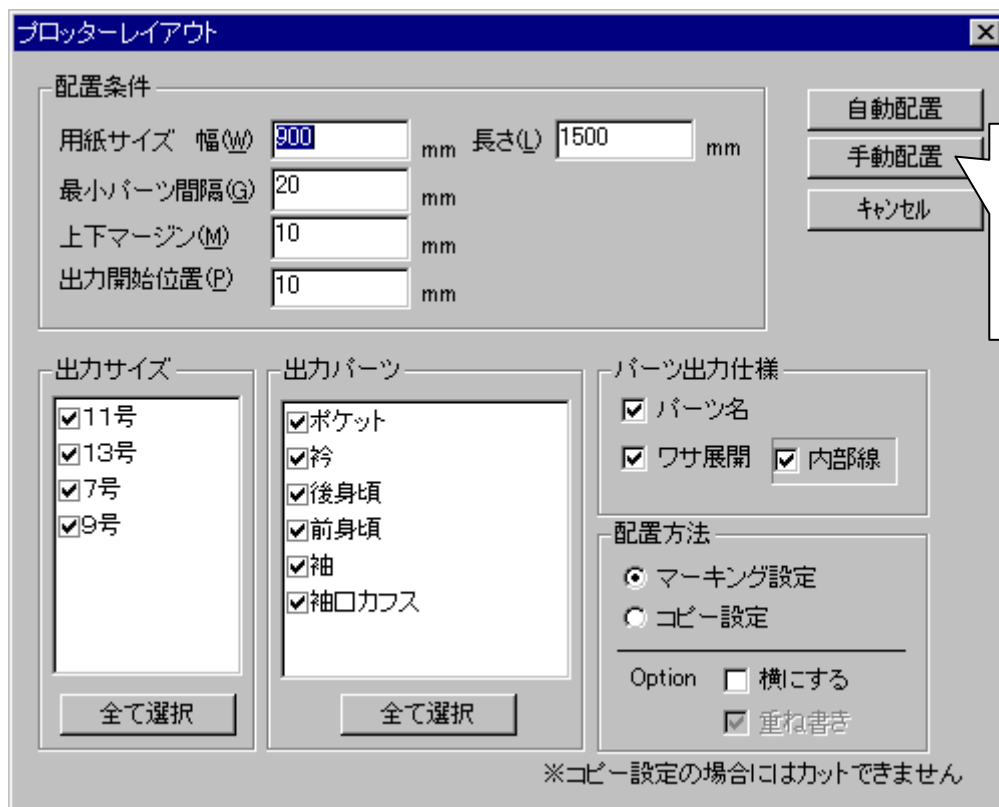
※ パーツを回転する場合

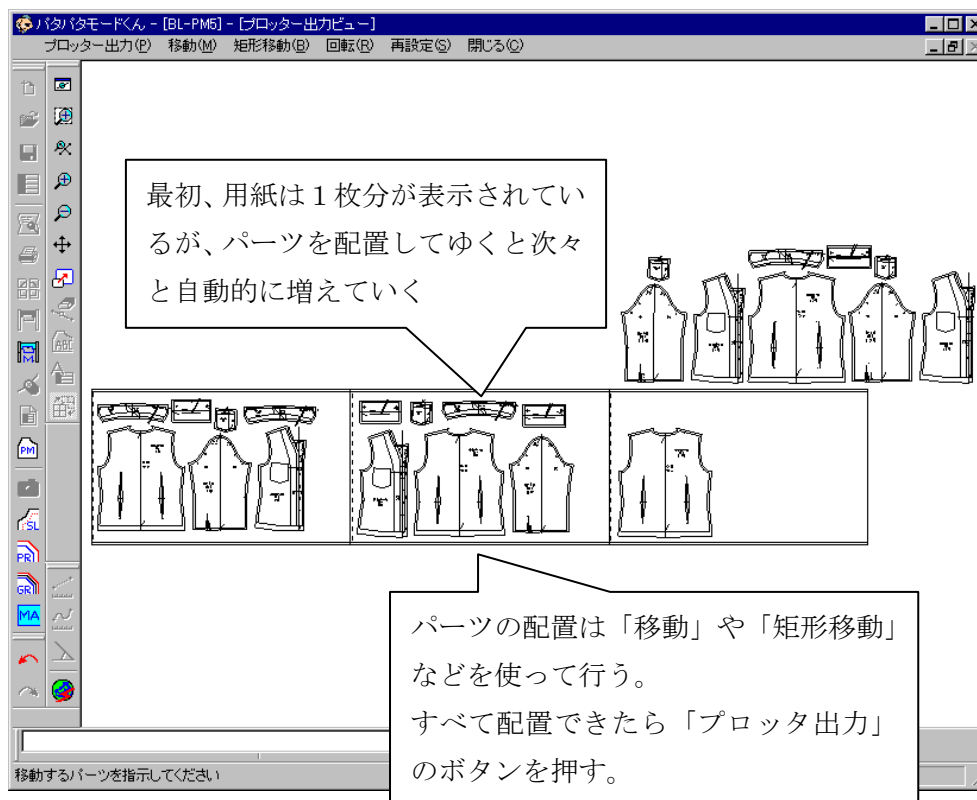


※ 再度設定し直す場合

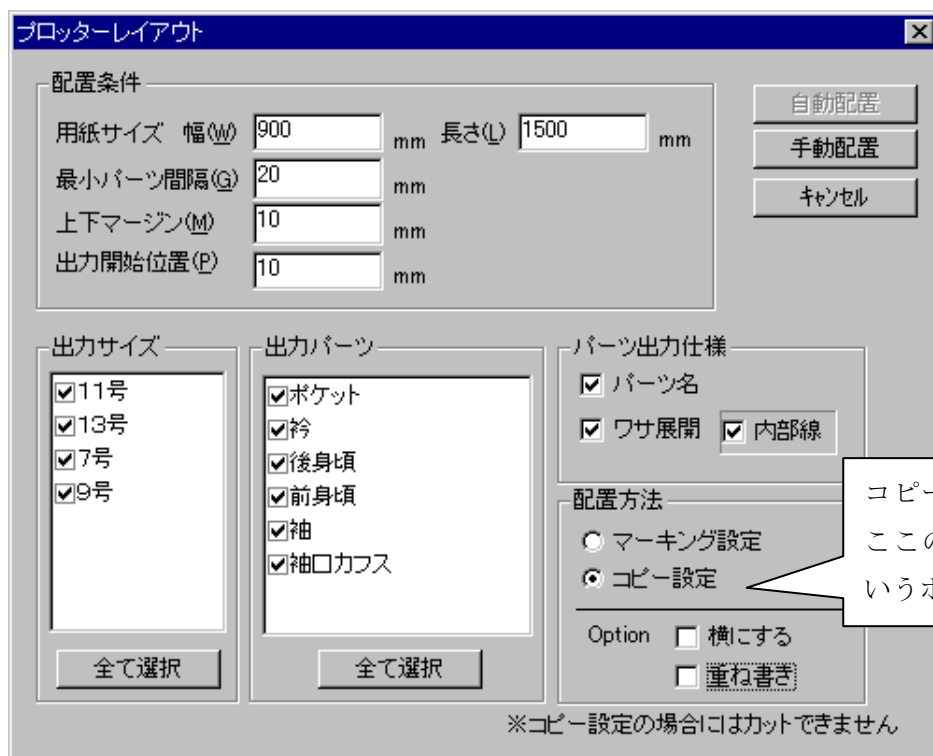


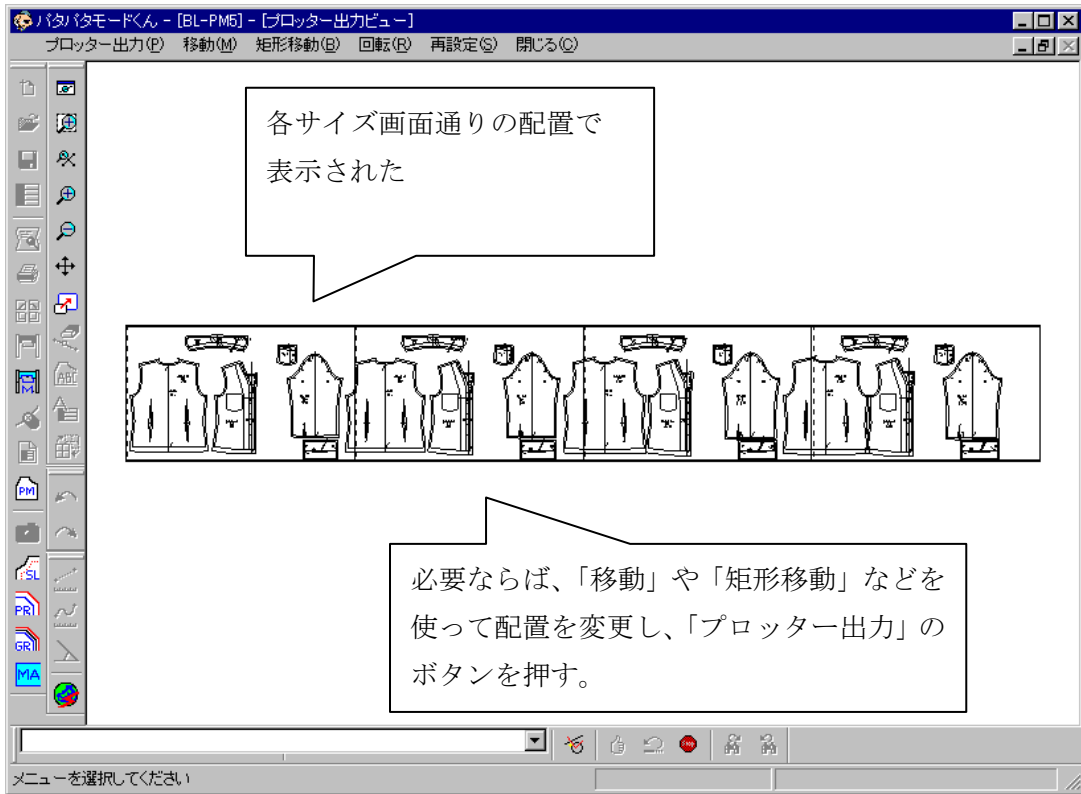
※ 手動配置の場合



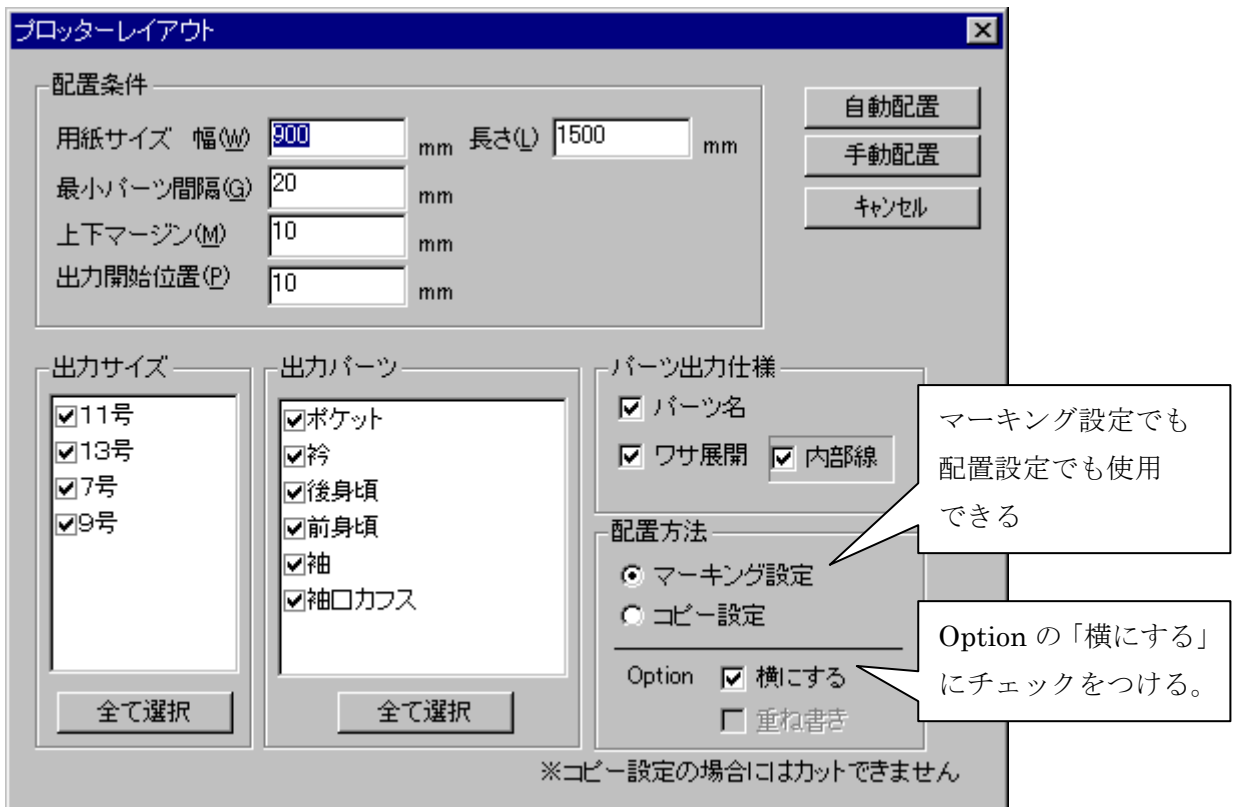


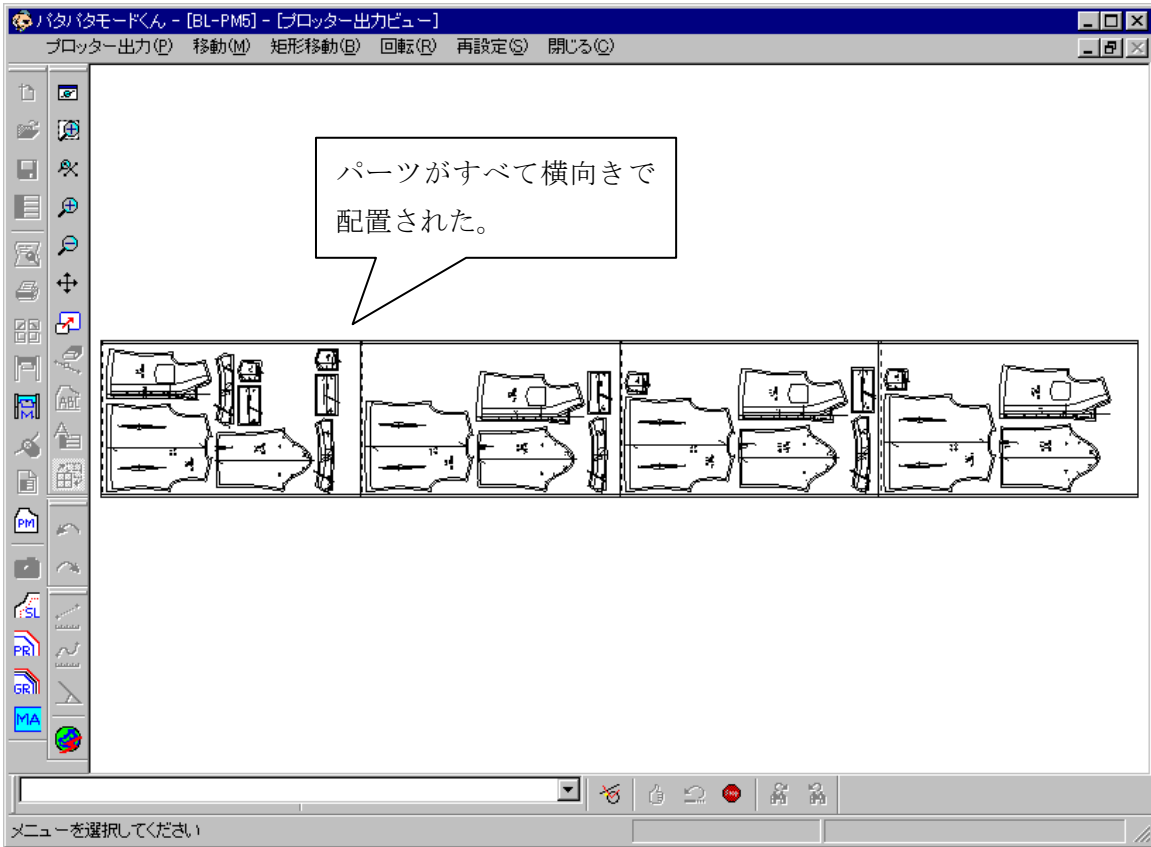
※ コピー設定の場合（コピー設定とは画面通りの配置をいったん表示し、出力する設定のこと）





※すべてのパーツを横にして配置したい場合





※ 重ね書きで出力する。

注意：重ね書きの時は縫代でカットしないよう、出力前にペン番号の設定を必ずご確認ください。

プロッターレイアウト

配置条件

用紙サイズ 幅(W) mm 長さ(L) mm

最小パーツ間隔(G) mm

上下マージン(M) mm

出力開始位置(P) mm

自動配置

手動配置

キャンセル

出力サイズ

11号

13号

7号

9号

全て選択

出力パーツ

ポケット

衿

後身頃

前身頃

袖

袖口カフス

全て選択

パーツ出力仕様

パーツ名

ワサ展開 内部線

配置方法

マーキング設定

コピー設定

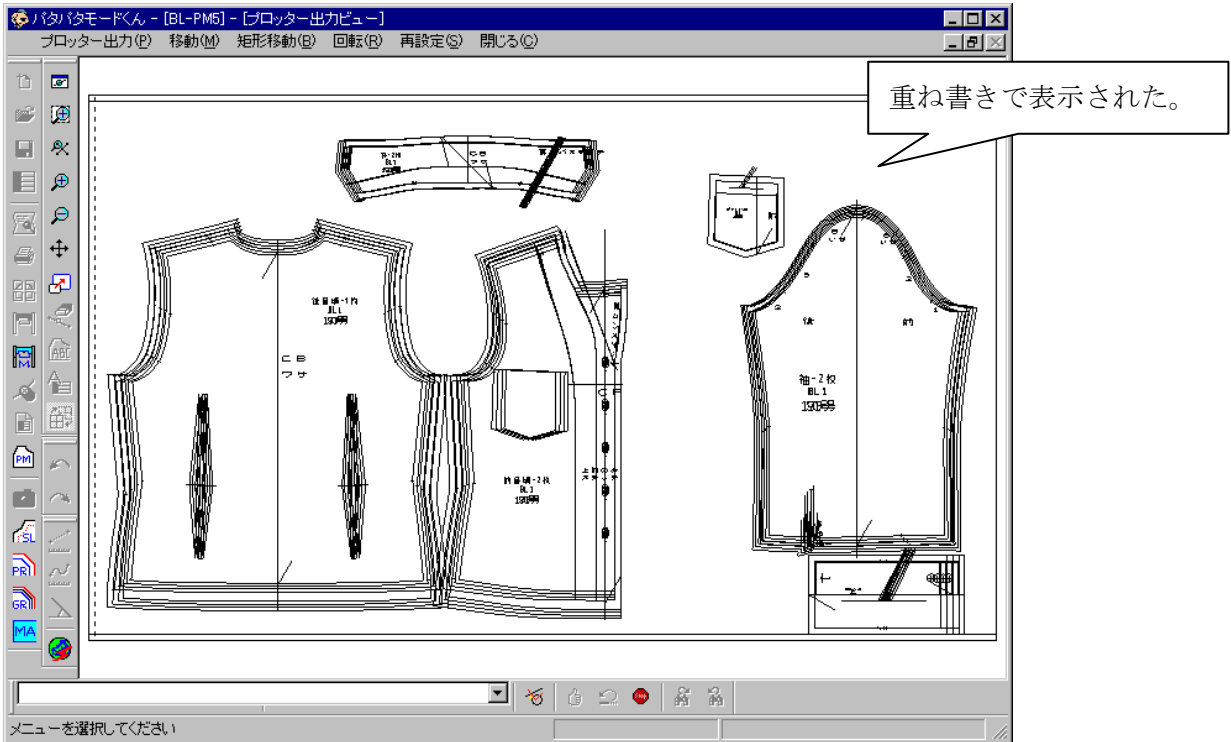
Option 横にする

重ね書き

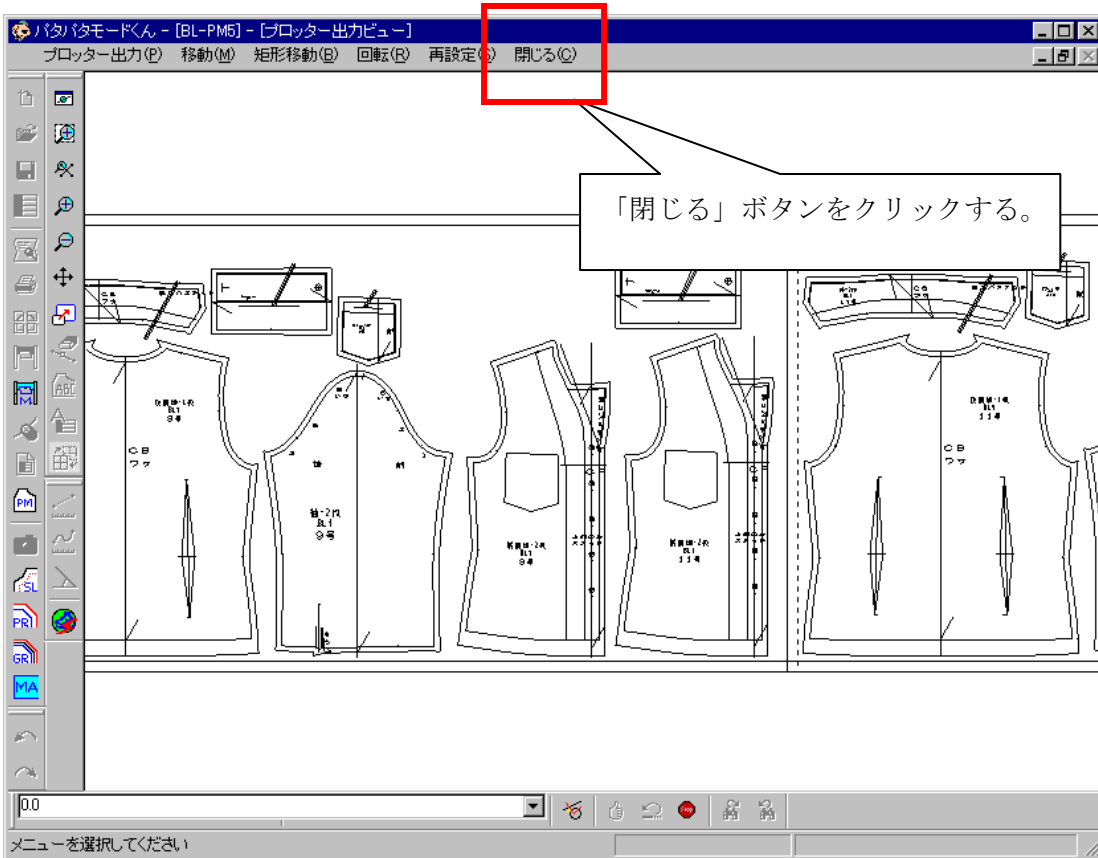
コピー設定の時しか重ね書きできない。

重ね書きにチェックをつける。

※コピー設定の場合にはカットできません



※プロッタープレビュー画面を終了する。(元の画面に戻る)



◆プリンタの設定

プリンタの設定を行う

「ファイル」→「プリンタの設定」

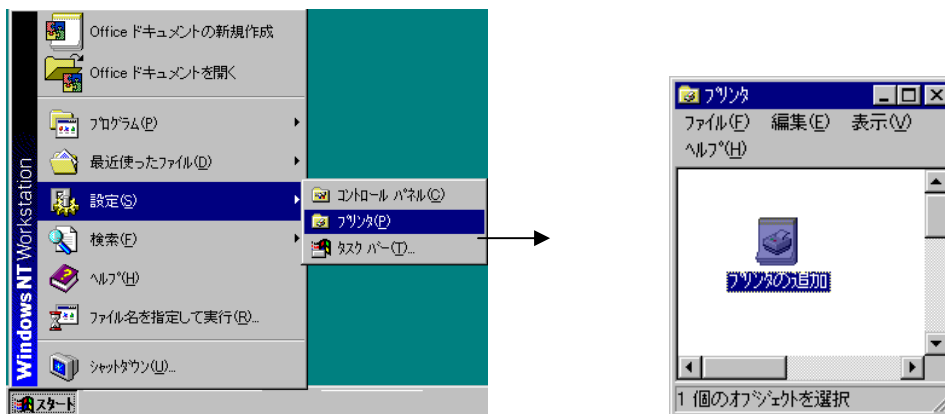
ダイアログが表示されるので、必要な設定をし、OK ボタンを押す。

<ダイアログのイメージ>



- ・ プリンタ名・・・出力したいプリンタ、プロッタ名をプルダウンから選択する。
- ・ 用紙サイズ・・・出力したい用紙をプルダウンから選択する。
- ・ 印刷の向き・・・印刷の向き（縦・横）いずれかを指定する。

※プリンタ名のところに、出力したいプリンタ名、プロッタ名がない場合は、
「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選び、「プリンタ追加」のアイコンをダブルクリックして、指示に従って追加する。



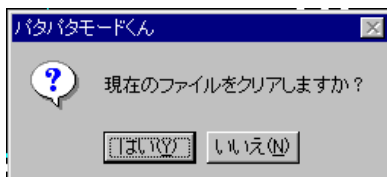
◆インポート (TIIPDXF 入力、DXF 入力、)

TIIPDXF 形式、DXF 形式のファイルを<パタパタモードくん>の画面上に読み込む。

「ファイル」→「インポート」→「TIIPDXF 入力」(「DXF 入力」)

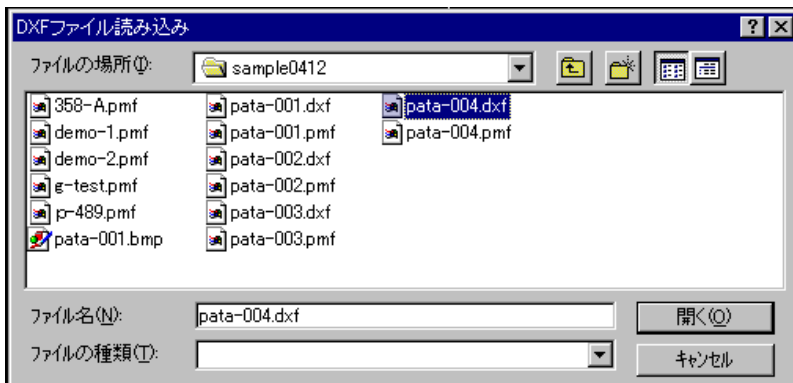
すでにファイルを開いている状態の場合、下記のようなダイアログボックスが表示されるので、画面をクリアするかどうかを選択する。

<ダイアログのイメージ>



ダイアログが表示されるので、入力したいファイルを選択し、OK ボタンをクリックすると<パタパタモードくん>形式のファイル (*.pmf) に変換され、ファイルが開く。

<ダイアログイメージ>



※ TIIP DXF とは

異なるメーカー同士の CAD データに互換性を持たせるため、開発された中間ファイル形式のこと。

現在、東レ、旭化成、島精機、ユカ&アルファ、レクタラなどのパソコン版ソフトでは標準装備されている場合が多い。

この機能により、他メーカーの CAD で作成したファイルの読み込みや、<パタパタモードくん>で作成したファイルを他メーカーの CAD で読み込みが可能になった。

※ DXF とは

Auto CAD など、他の一般的な CAD ソフトや Illustrator での中間ファイル形式のこと

◆エクスポート (TIIPDXF 出力、DXF 出力)

それぞれの形式に変換した状態で<パタパタモードくん>のファイルを出力する。

「ファイル」→「エクスポート」→「TIIPDXF 出力」(「DXF 出力」)

操作方法は「別名をつけて保存」とほぼ同じ。

<保存画面イメージ>



◆作業内容を変更する

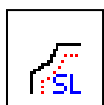
パターンメイキング、縫代付け、パラメトリック、グレーディング、マーキングといった作業内容を変更したい場合、各アイコンをクリックすると、コマンドメニューが切り替わる。

※「突き合わせ」「ダーツ修正」の際に「線編集」の画面に切り替わった後、元に戻す時もこの機能を使う。

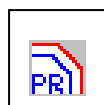
<各機能のアイコン>



パターンメイキング



縫代付け



パラメトリック



グレーディング



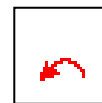
マーキング

● 編集 (E)

◆UNDO (ショートカットは Ctrl+Z)

実行されたコマンドを実行前に戻す。

「編集」→「UNDO」



◆REDO (ショートカットは Ctrl+Y)

UNDO で復帰された状態から、もう一度コマンドを実行した状態に進む。

「編集」→「REDO」



- UNDO・REDO はともに1回のみ有効。
- 実行は1メニュー分まとめて戻る。(1手順分ではありません)

● 表示 (V)

◆再描画 (ショートカットは Ctrl+R)

図面を再描画し、残っている余分な線を消去する。

「表示」→「再描画」



◆全表示 (ショートカットは Home キー)

図形の全体を表示する。

「表示」→「全表示」



◆指定領域拡大

指定した範囲を画面いっぱいに拡大表示する。

「表示」→「指定領域拡大」



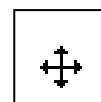
◆画面移動

クリックした位置が画面の中心にくる。

「表示」→「画面移動」

※続けて何回でもできる。

※ (Shift キー+右ドラッグ) でカーソルが手の形になり、リアルタイムで画面を動かすことができる。



◆XY平面 (ショートカットは Shift キー+Home)

X方向・Y方向を水平・垂直に整える。

「表示」→「XY平面」

◆倍率指定（100%のショートカットは Ctrl キー+F ）

表示倍率を指定する。100%は実寸大の表示になる。

※ 50、75、100、200、400 %の倍率が選択できる。

※モニターの解像度から、大きさを判別するため「ツール」→「システム設定」→「モニタサイズ」で使用しているモニターの大きさを入力し、設定する。

◆++/-- <ズーム> （ショートカットは PageUp/PageDown ）

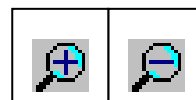
(++)で拡大表示、(--)で縮小表示できる。

「表示」→「++」（「--」）

※続けて拡大（縮小）できる。

※（Ctrl キー+右ドラッグ）でリアルタイムズームができる。

右へ移動→縮小、左へ移動→拡大。

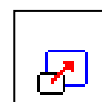


◆前画面表示

現在表示している画面の直前の画面を表示する。

「表示」→「前画面表示」

- ファイルを開いた直後など、直前の画面がない場合は変化しない。
- 複数回可能



◆構成点表示（ショートカットは Ctrl+D ）

現在表示しているラインの構成点を表示／非表示の切り替えをする。

「表示」→「構成点表示」

◆ワサ展開

ワサ指定しているパーツをワサ展開した状態で表示する。

「表示」→「ワサ展開」

※展開はイメージのプレビューであり、他のメニューに入ると消えてしまう。

◆パーツ情報（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

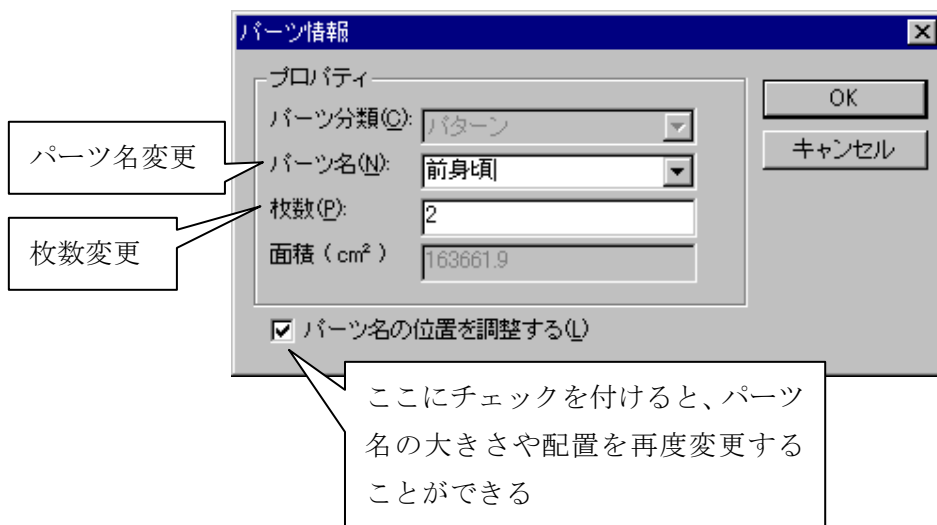
パーツの情報を表示し、パーツ名を編集できる。

「表示」→「パーツ情報」

パーツをクリックするとダイアログボックスが開き、パーツ情報が表示される。情報内容を確認し、変更・修正があれば内容を編集して OK ボタンを押す。



<ダイアログのイメージ>



情報内容

- ・ パーツ分類 (パターン、翻訳語、JIS 記号、仕様図) (表示のみ)
- ・ パーツ名 (変更可能。プルダウンより選択も可能)
- ・ パーツ枚数 (変更可能)
- ・ 面積 (c m²) (表示のみ)
- ・ 配置調整 (チェックをつけていると、OK ボタンを押した後にパーツ名を再配置できる)

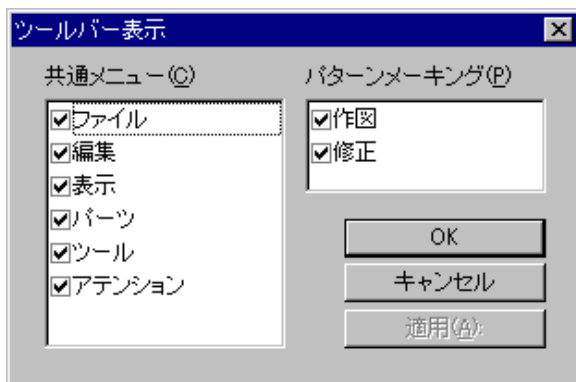
◆表示サイズ変更 グレーディング 18 ページ参照

◆ツールバー

ツールバーの表示・非表示の切り換えを行う。

「表示」→「ツールバー」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されるので、作業画面に表示させたいツールバーのチェックボックスにチェックを入れ (クリックで ON・OFF 切り替え) OK ボタンを押す。



● ツール (T)

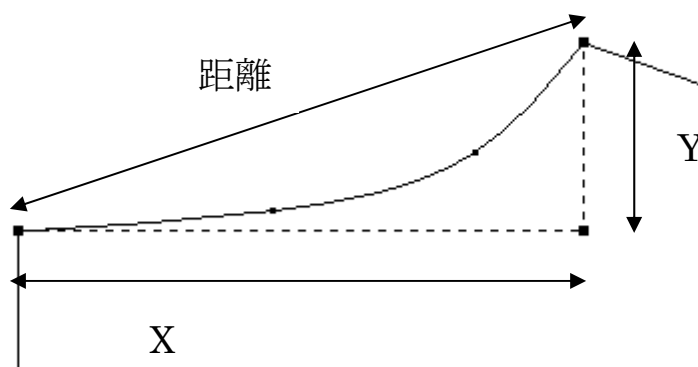
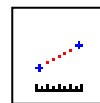
◆ 距離計測

2点間の線の長さ ΔX ΔY の座標値を測定します。

「ツール」→「距離計測」

計測したい2点を指示すると赤い点で2点が表示され、ダイアログボックスが開き、 ΔX 、 ΔY 、2点間の直線距離を表示する。

右クリックで合計値が表示される。



<ダイアログボックスのイメージ>

項目	ΔX (mm)	ΔY (mm)	距離(mm)
1-AB間	206.1	0.0	206.1
1-CD間	0.0	258.5	258.5
1-EF間	206.1	0.0	206.1
合計	412.2	258.5	670.7

OK

※表示されたダイアログボックスは、コマンドが終了しても画面に残る。

(消すときはOKボタンを押す。)

※小数点第1位まで表示される。

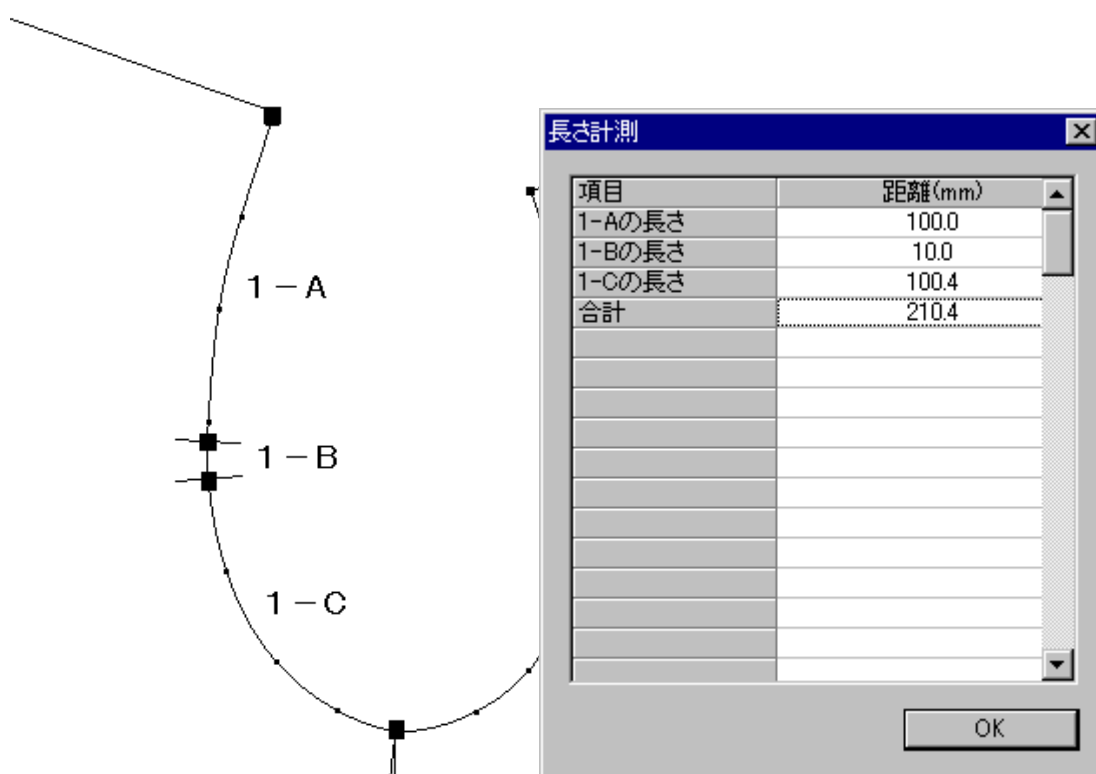
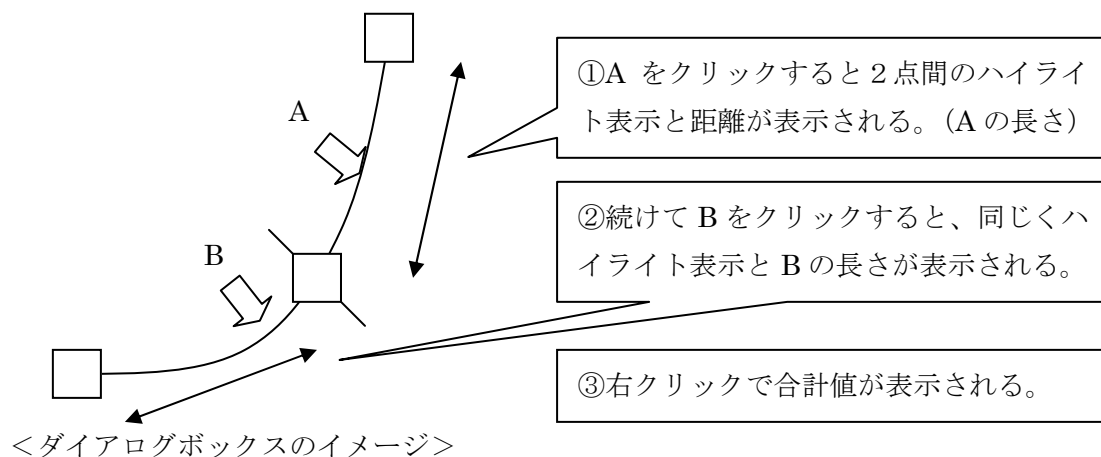
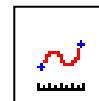
※ボックスが開いている間、最後に選択した点が、ハイライト表示されている。(赤点)

※テキストウインドを閉じると同時にハイライト表示は消える。

◆長さ計測

端点—端点、端点—ノッチ、ノッチ—ノッチの線分の実長を計測する。

「ツール」→「長さ計測」



※表示されたダイアログボックスは、コマンドが終了しても画面に残る。

(消すときはOKボタンを押す。)

※小数点第1位まで表示される。

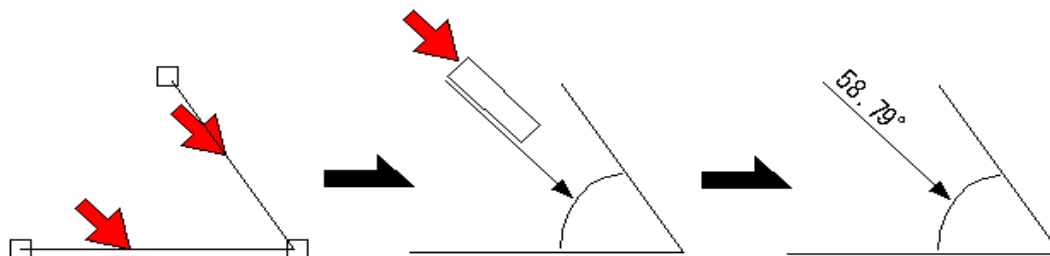
※合計が出るまで選択曲線がハイライト表示される。

※ハイライト表示された曲線を再度クリックすることにより、未選択状態に戻せる

◆角度計測

2線間の角度を計測する。

「ツール」→「角度計測」



①角をなす線分の2本を指定する。

②表示したい場所にドラッグして指定。

③実行。

※角度は小さい方が表示される。

※選択できる線は直線のみではなく、円・曲線も可能である。円・曲線を選択した場合、接線ベクトルの角度が表示される。

◆電卓

Windowsの電卓機能呼び出す。

「ツール」→「電卓」

クリックすると、Windowsの電卓機能画面が表示される。

キーボードから数字や記号を入力し、計算できる。

<電卓>



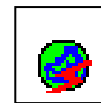
◆URL接続

クリックすると、インターネットに接続し、<パタパタモードくん>のWebページを表示することができる。

「ツール」→「URL接続」

クリックするだけで、インターネット・エクスプローラーが起動し、ダイアルアップの接続のダイアログボックスが表示される。

「接続」ボタンを押して、接続すると、<パタパタモードくん>Webページが表示される。

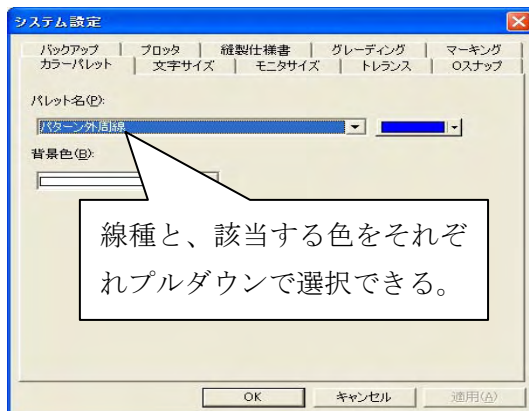


◆システム設定

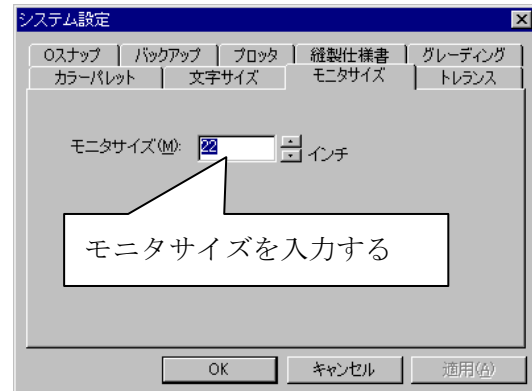
さまざまなシステムの設定を行う。それぞれの項目は下記の通り。設定後 OK ボタンを押して決定する。

「ツール」→「システム設定」

①カラーパレット



② モニタサイズ



③プロッタ

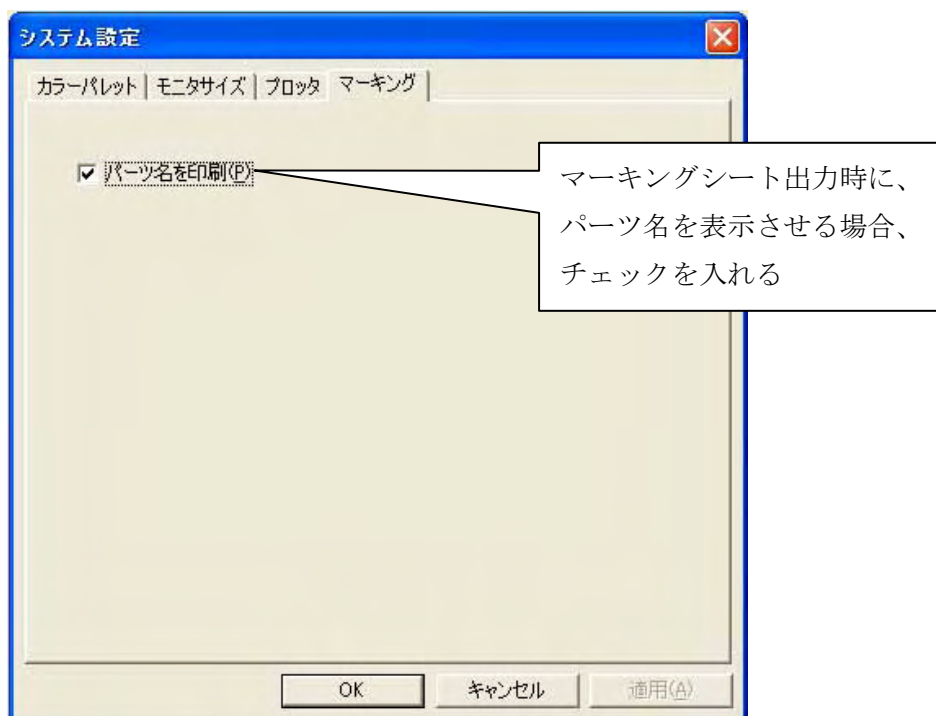
プロッタメーカーを選択する
グラフィックまたは武藤工業

プロッタのペン番号を割り当てる

武藤工業の場合のみ、設定できる

武藤工業のマーキングプロッタ
を使用する場合、チェックをいれ
ると、マーキングステージから実
寸マーカを出力できる

④マーキング



●パターンメイキング

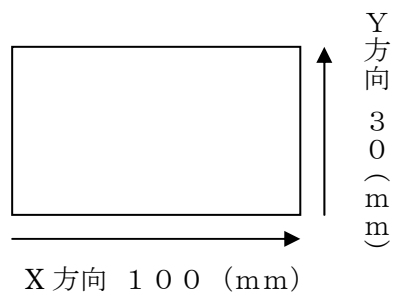
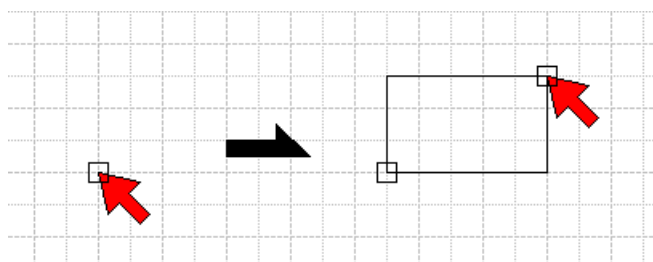
I. 作図

◆線

◇四角形

図面上に四角形を作成する。

「作図」→「線」→「四角形」



①始点の指定

②マウスで任意の位置まで対角点を伸ばし、クリックする。またはX、Yの値を入力し、Enter キーを押す。(右図参照)

100,30

横、縦の順にコンマで区切って入力し、Enter キーを押すと、入力した大きさの四角形を描くことができる

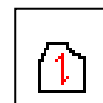
※作成された四角形の辺はそれぞれ4本の線分として描かれる。

※Ctrl キーを押しながらドラッグすると正方形になる。その時は数値入力不可。

◆地の目（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

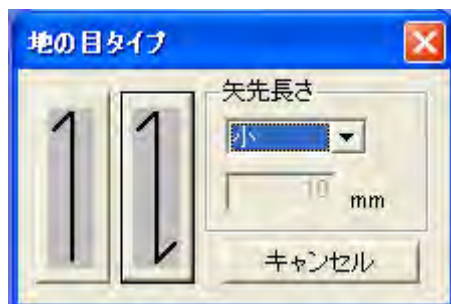
パーツ上に地の目を作成する。

「作図」→「地の目」をクリックする。



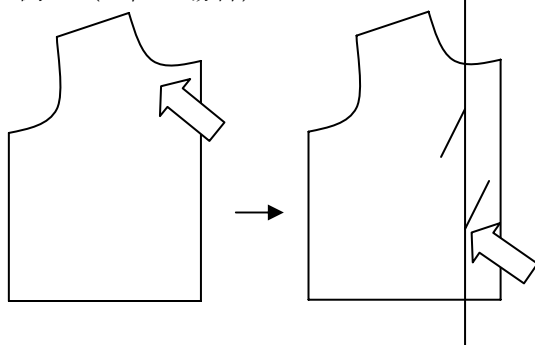
パーツをクリックするとダイアログが開くので、地の目のタイプをクリックする。

<ダイアログボックスのイメージ>

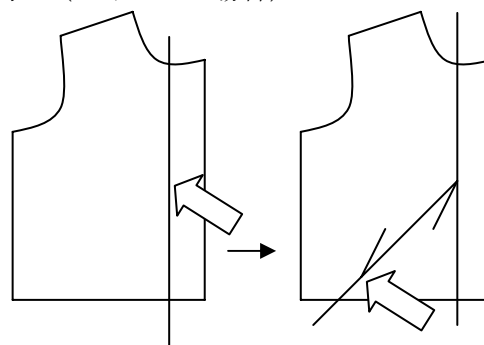


コントロールキーを押しながら引くと水平・垂直、45°のバイアスに地の目をひくことができる

例1（垂直の場合）



例2（バイアスの場合）



①1点目をクリック。 ②2点目をクリックする。

※地の目は自動的に縫代の外まで突き抜ける。

※地の目はパーツにつく。

※矢先の長さは「大・中・小・任意」のうちから選べる。（ビュープリント版では、「大・中・小」の設定はできないが、「任意」を選択し、直接入力することはできる。）

※地の目は、共通メニューにも含まれるため、縫い代付け・グレーディング・パラメトリックステージでも使用できる。

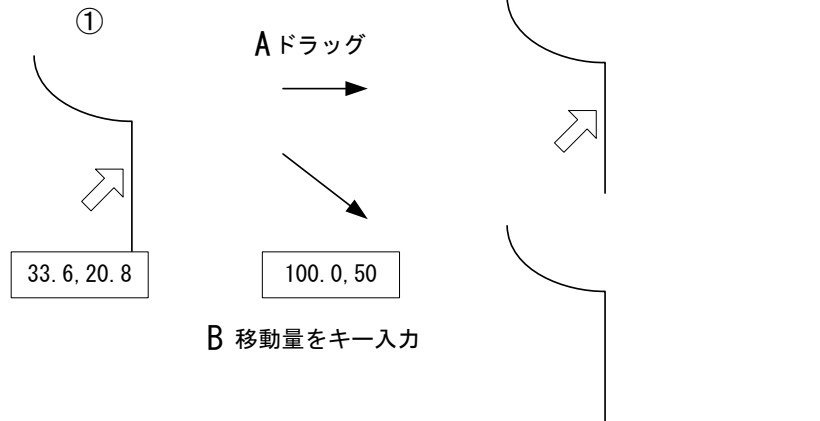
II. 修正

◆移動／コピー

◇移動

線や文字・パーツ等を移動します。

「修正」→「移動／コピー」→「コピー」



①マウスで対象要素をエリア指定し、移動の基準となる線上の点をクリックする。

②A : マウスを動かし、任意の位置をクリックし移動する

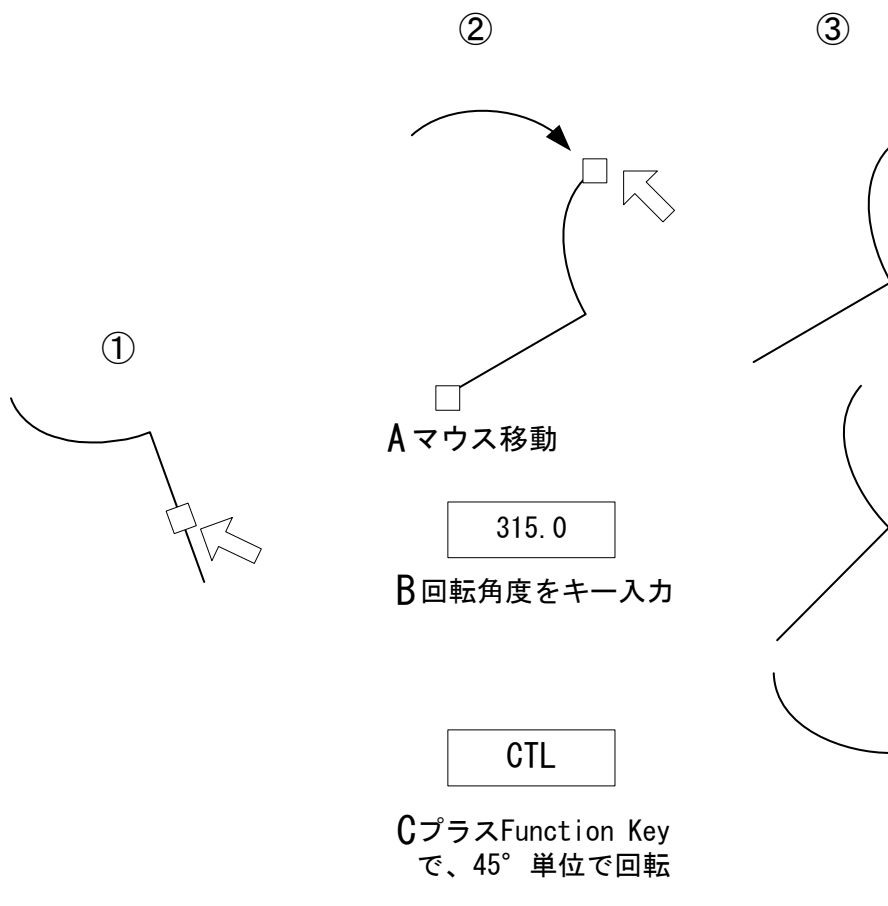
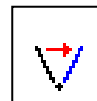
B : 移動量をキー入力する (X,Y 座標値)

※パーツ内の文字を移動する場合は、**Shift** キーを押しながら、文字を選択する。

◇回転

線や文字・パーツ等を回転する。

「修正」→「移動/コピー」→「回転」



①対象要素の選択。選択した箇所を回転の中心とする。

②基準点を選択。

③A：マウスを動かし、任意の位置でクリックして回転。

B：回転角度をキー入力。

C：Ctrl キーを押しながらマウスを動かすと、45° 単位で回転。

※角度は X 軸を基準として左回りに 360 度法で入力。

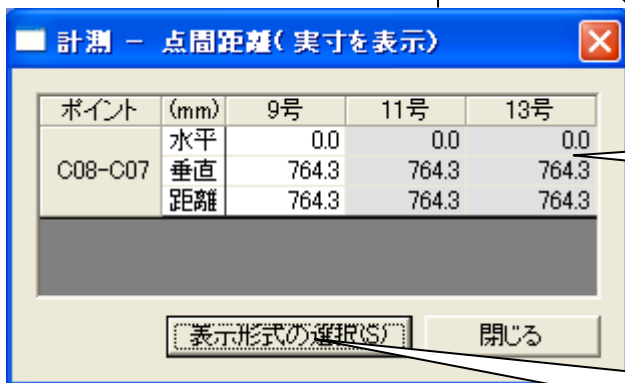
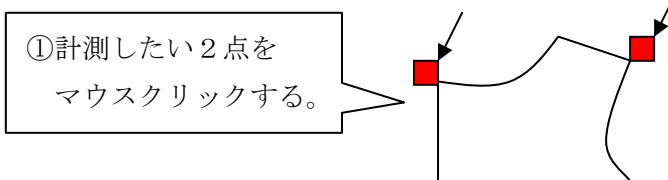
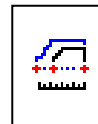
● グレーディング

◆ 計測

◇ 点間距離

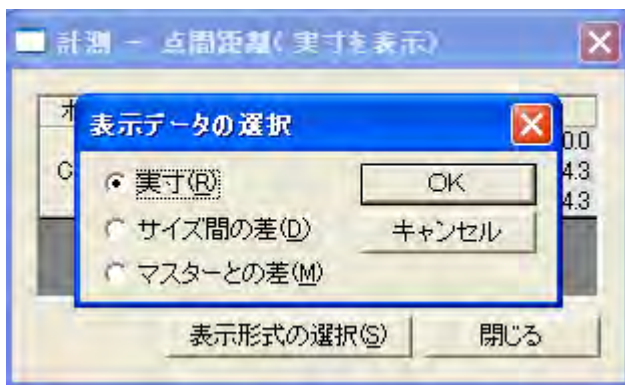
グレーディングした全サイズの指定した2点間の直線距離を計測する。

「グレーディング」→「計測」→「点間距離」



②計測結果が表示される。

表示形式の選択ボタンをクリックすると、表示形式を変更できる。



表示形式は3通り

1. 実寸
2. サイズ間の差
3. マスターとの差

※右クリックで、合計値を表示できる。

※閉じるボタンをクリックするか、再度点間距離アイコンをクリックするまでダイアログは表示され続ける。

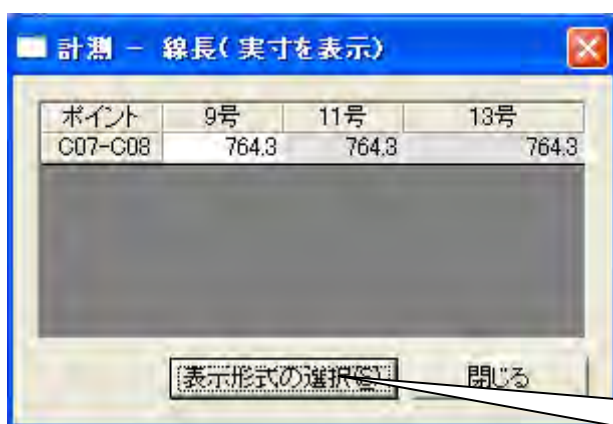
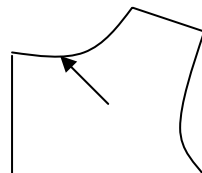
◇線長

グレーディングした全サイズの指定した線の実長を計測する。

「グレーディング」→「計測」→「線長」

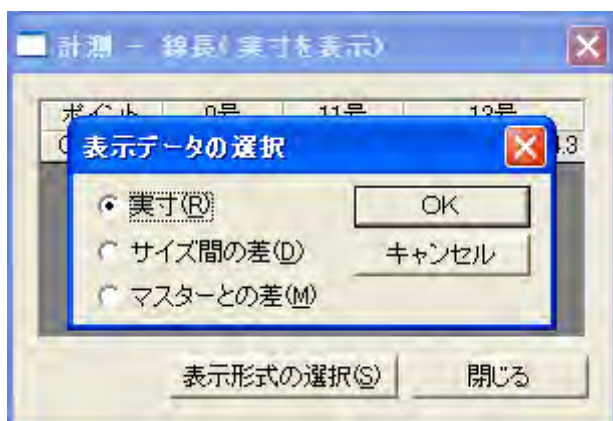


①計測したい線を
マウスクリックする。



②計測結果が表示
される。

表示形式の選択ボタンを
クリックすると、表示形式
を変更できる。



表示形式は3通り

1. 実寸
2. サイズ間の差
3. マスターとの差

※右クリックで、合計値を表示できる。

※閉じるボタンをクリックするか、再度線長アイコンをクリックするまでダイアログは表示され続ける。

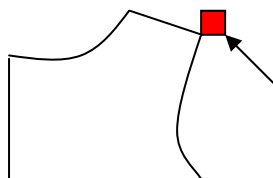
◇点移動量

グレーディングした全サイズの指定した点の移動量を計測する。

「グレーディング」→「計測」→「点移動量」

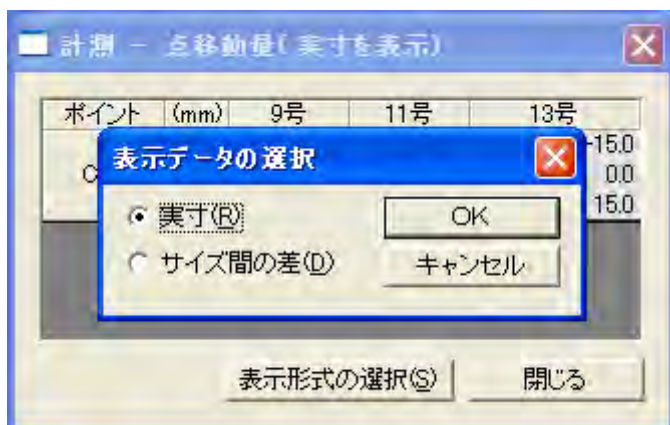


①計測したい点を
マウスクリックする。



②計測結果が表示
される。

表示形式の選択ボタンを
クリックすると、表示形式
を変更できる。



表示形式は2通り

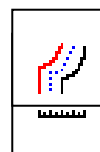
1. 実寸
2. サイズ間の差

※閉じるボタンをクリックするか、再度点移動量アイコンをクリックするまでダイアログは表示され続ける。

◆表示サイズ変更

表示サイズを指定して変更できる。

「グレーディング」→「表示サイズ変更」



①表示したいサイズをクリックして選択できる。

②ネスト(全サイズの重ね書き)で表示したい場合はクリックする。

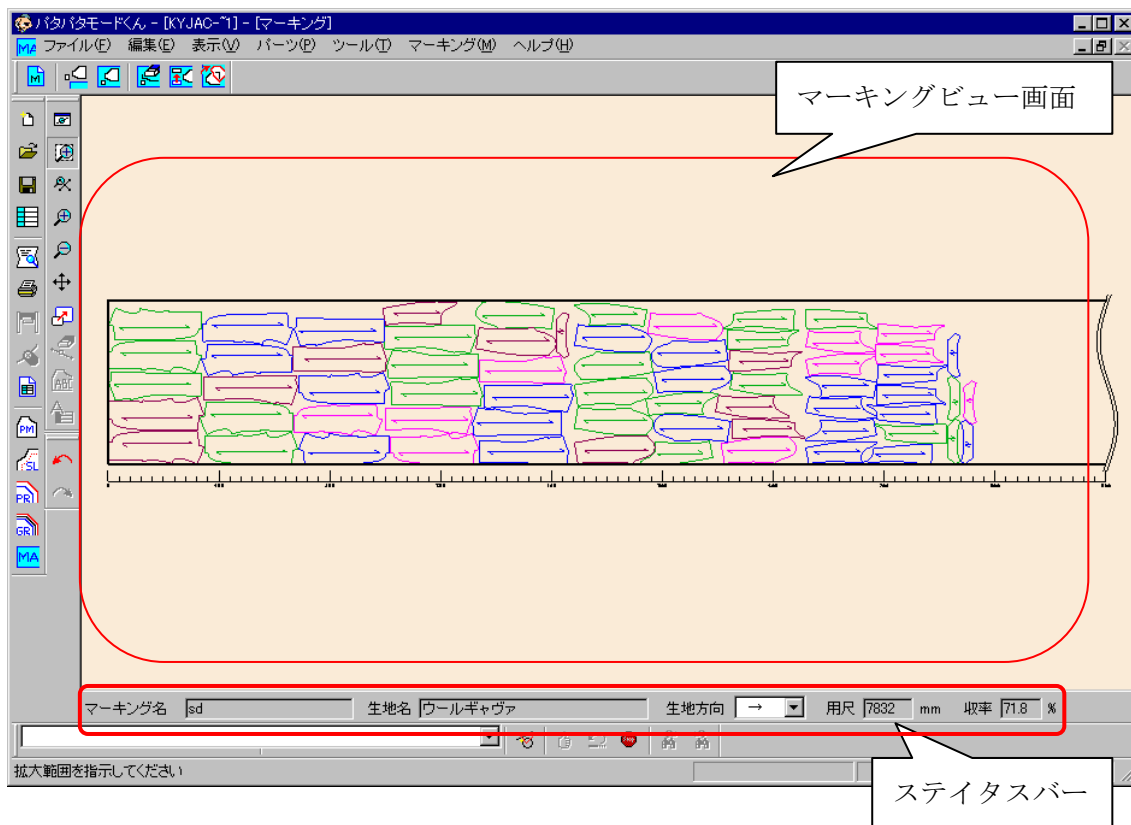
③チェックをつけると、縫代が表示される。

④表示更新ボタンを押すと、表示が変更される。

※表示サイズ変更は、共通メニューにも含まれるため、パターンメイキング・縫い代付けステージでも使用できる。

● マーキング

マーキングステージの説明



※ マーキングステージへ移動すると、パターンビュー画面から、マーキングビュー画面に切り替わる。

※ ステイタスバーの項目

(表示のみ)

- ・ マーキング名
- ・ 生地名
- ・ 用尺
- ・ 収率

(変更可能)

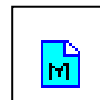
- ・ 生地方向

※ パターンはラインにて表示される。各サイズの色は、グレーディングで表示されている色と同じ色である。

◆条件設定（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

マーキングの条件設定を行う。

「マーキング」→「条件設定」



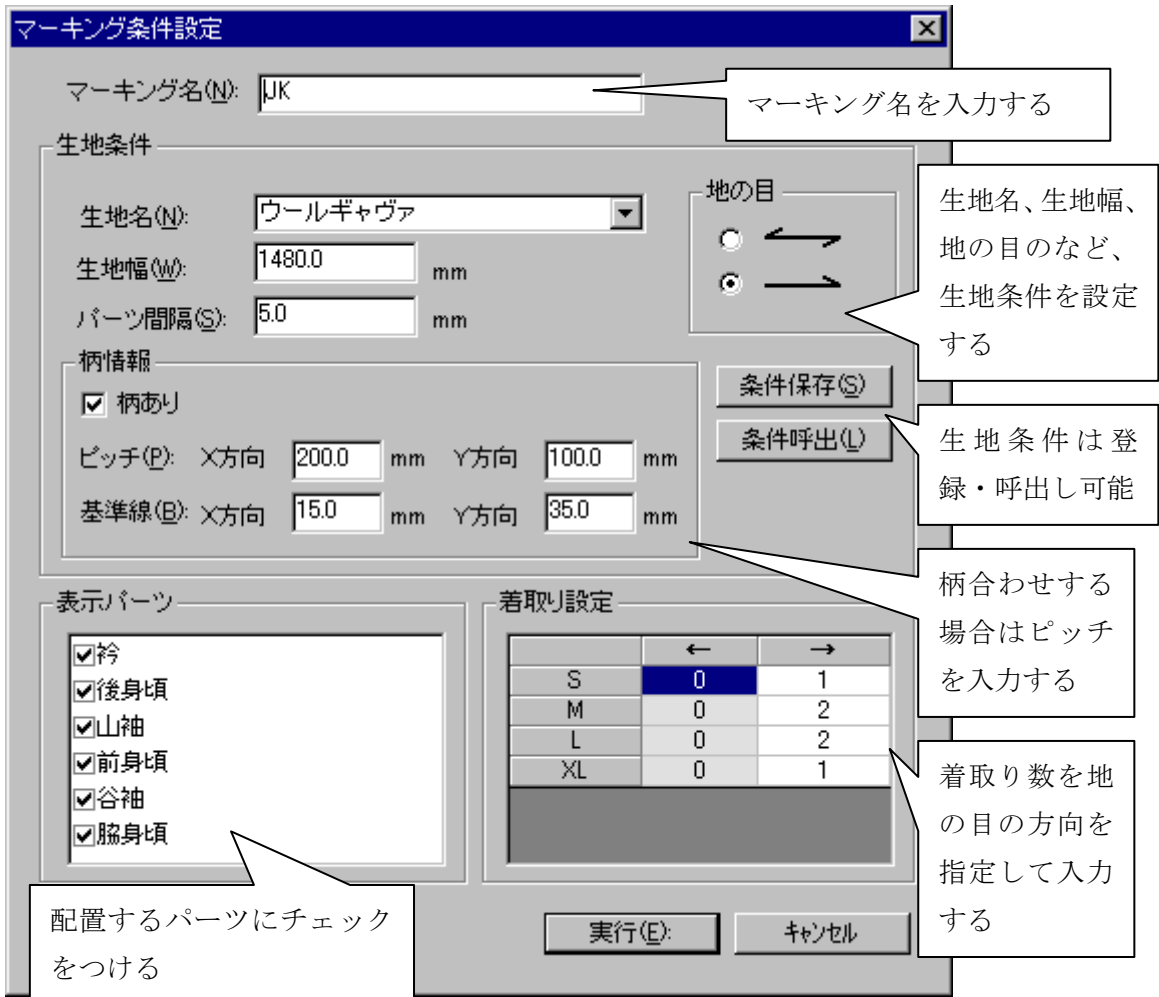
新規のマーキングデータを作成する

作成したマーキングの条件を変更する

マーキングデータを削除する

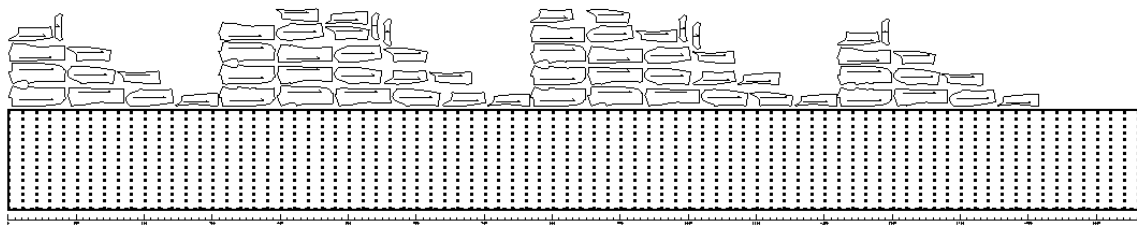
マーキングデータが複数ある場合、
表示したいリストを選択し、クリックすると表示が切り替わる

- ① はじめに上図のようなダイアログが表示されるので「新規作成」ボタン、又は「編集」ボタンをクリックする。



② 次に上図のダイアログが表示されるので、条件を入力し。「実行」ボタンを押す。

※ 条件設定通りにパターンが画面上に展開される。

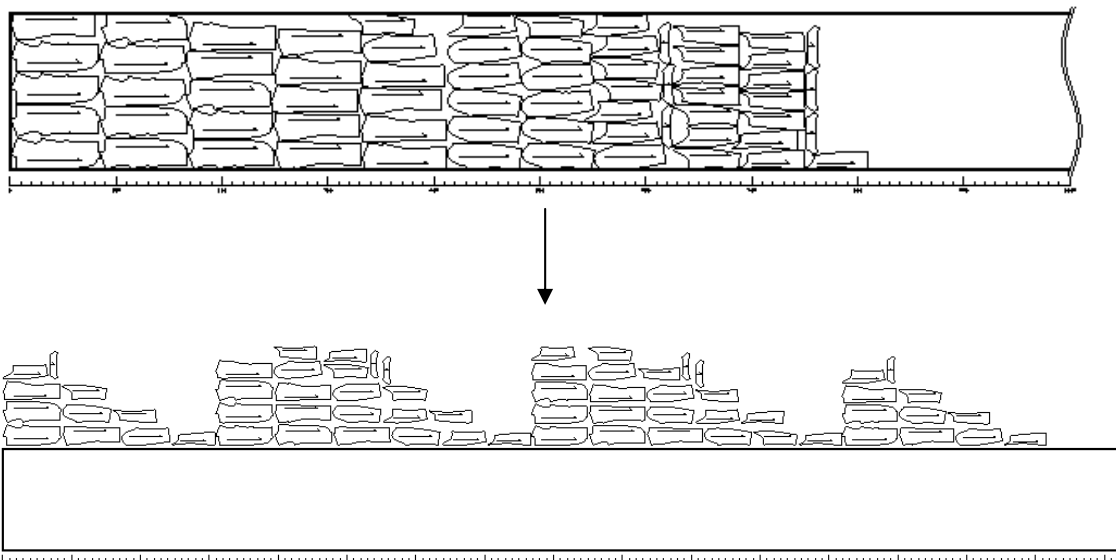


③ 「閉じる」ボタンを押して、ダイアログを閉じる。

◆初期化（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

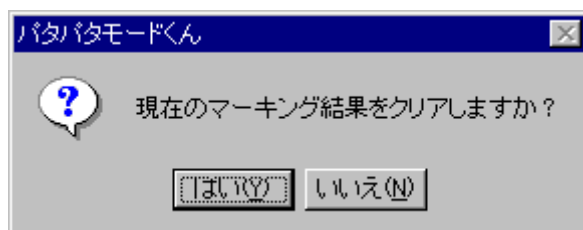
生地枠内に配置したパーツを全て配置前の状態に戻す。

「マーキング」→「初期化」



※ 初期化すると、現在のマーキング結果は消去される。

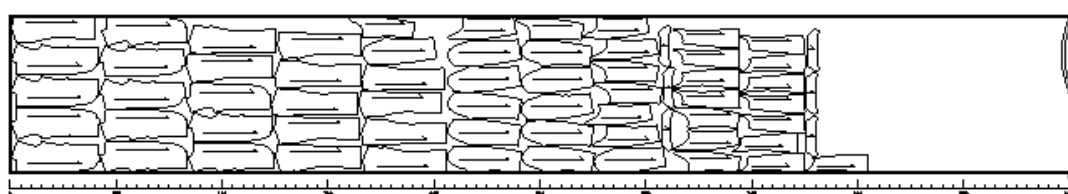
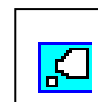
<ダイアログのイメージ>



◆自動配置（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

「条件設定」で展開したパターンを生地枠の中に自動的に配置する。

「マーキング」→「自動配置」

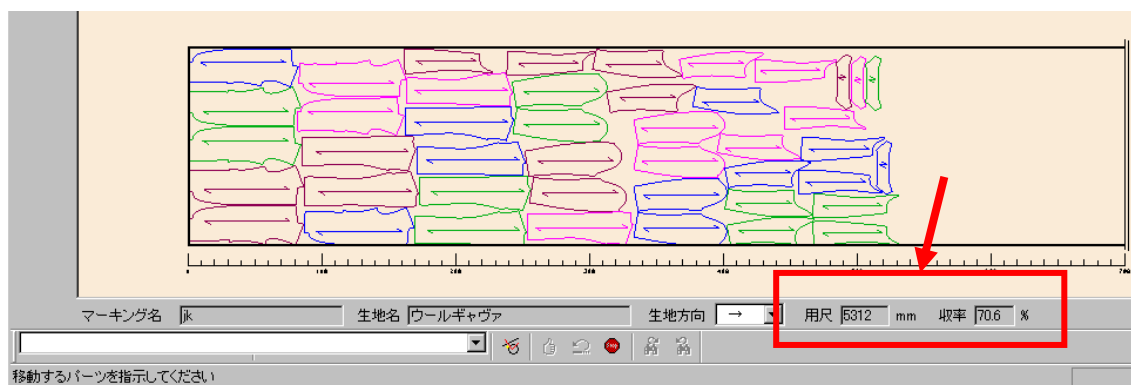


実行ボタンを押すと自動配置を開始する。終了すると、用尺・収率の表示がされる。

<ダイアログのイメージ>



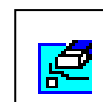
※ 画面下にも常時、用尺・収率が表示されている。(→ステイタスバー)

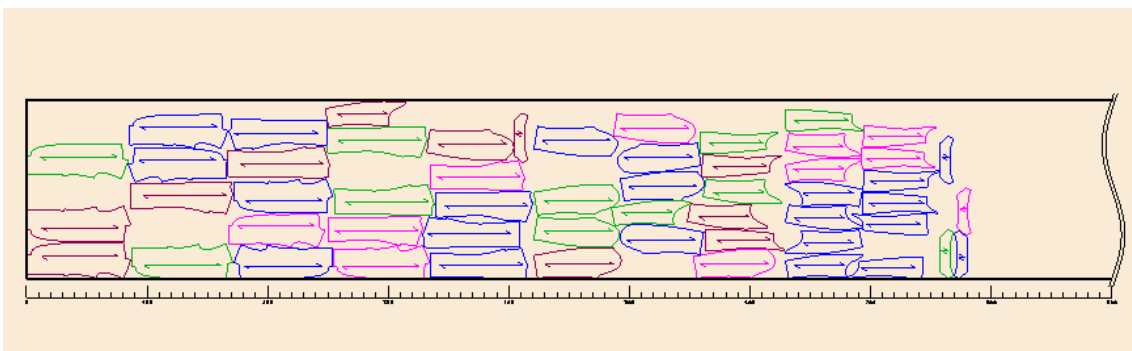
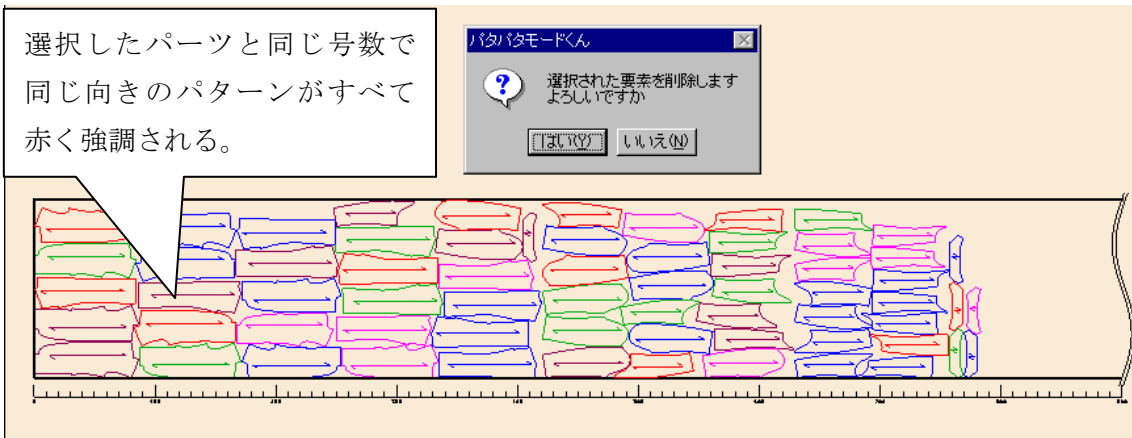


◆削除 (マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能)

展開したパターンを1着分削除する。

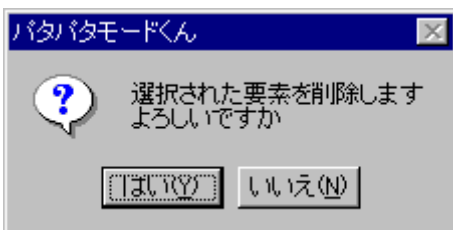
「マーキング」→「削除」





削除したいサイズのパーツが1着分まとまって、赤で強調される。ので、「はい」を押すと削除される。

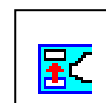
<ダイアログイメージ>

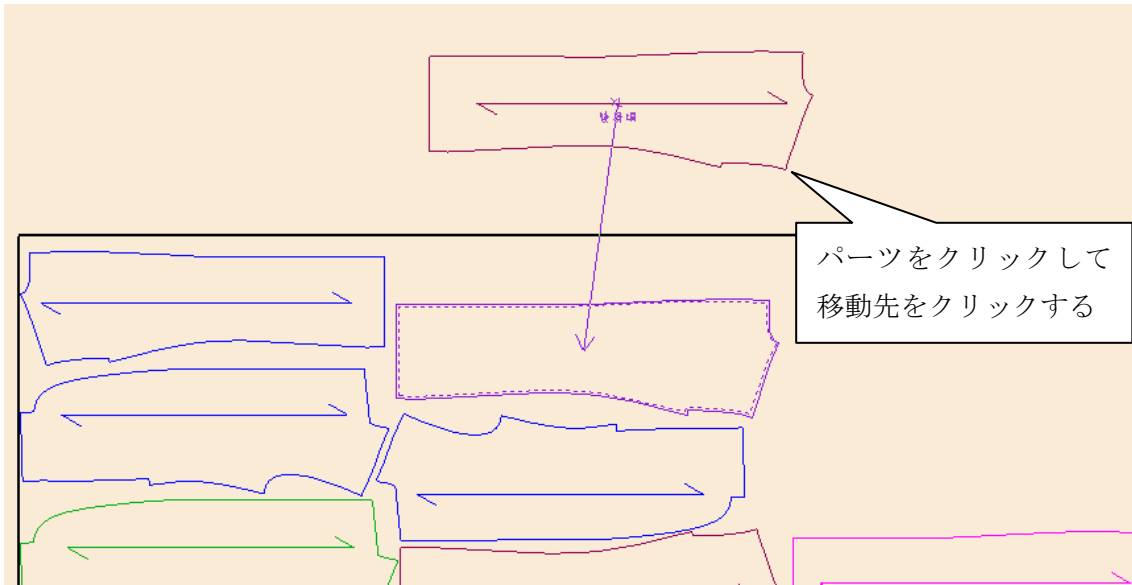


◆移動（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

選択したパーツを移動させる。

「マーキング」→「移動」

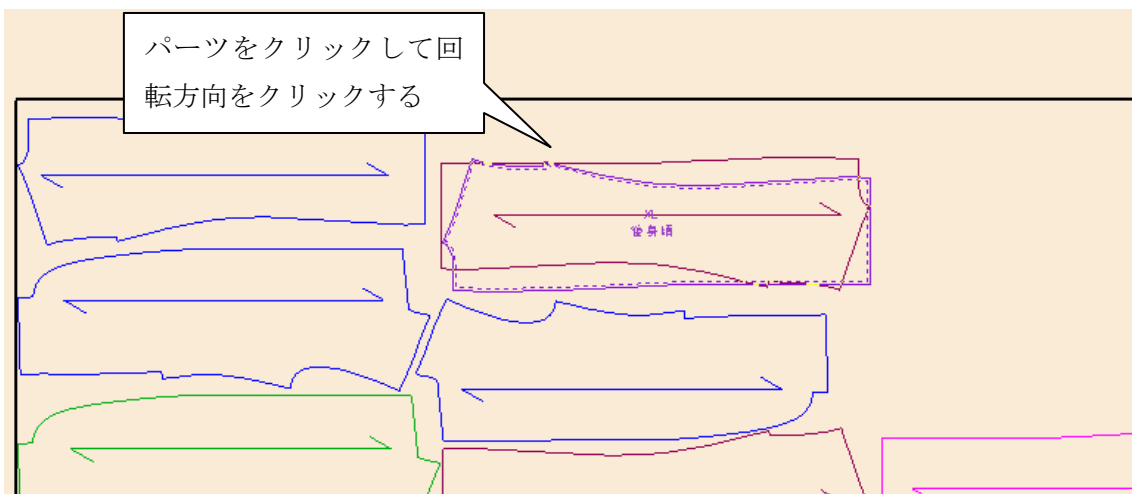




◆回転（マーキングオプション利用ユーザのみ使用可能）

選択したパーツを回転する。

「マーキング」→「回転」



※ 回転の中心はパーツの重心になる。

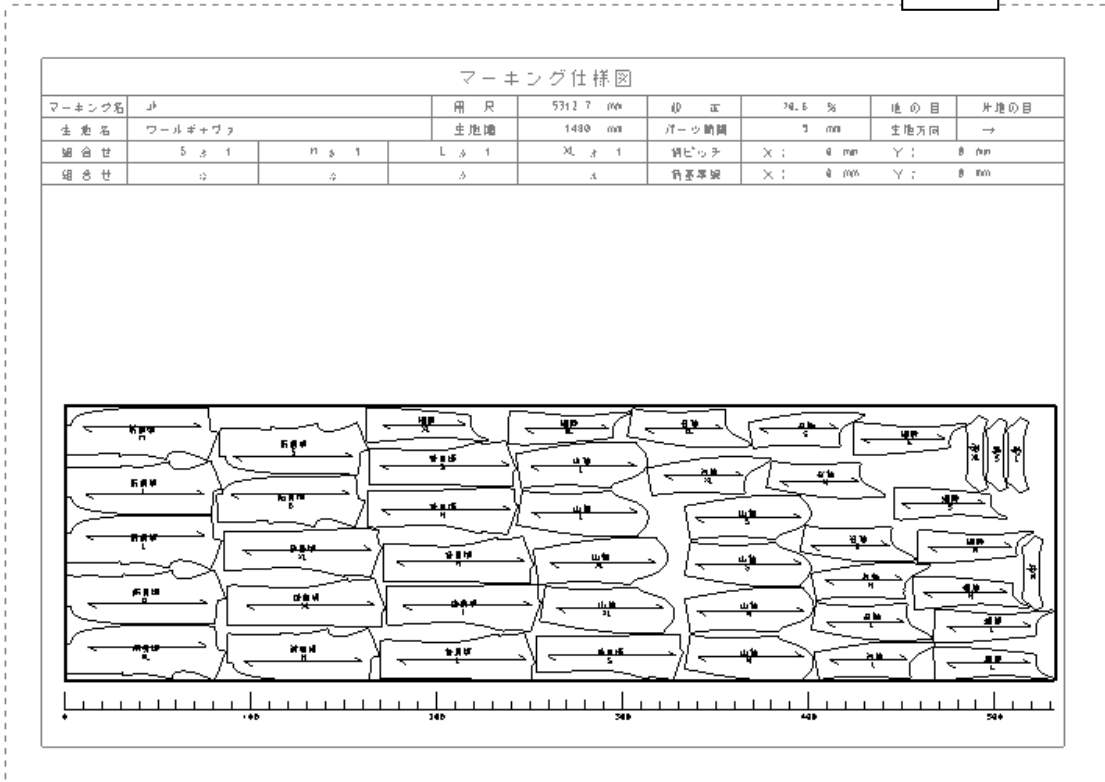
※ 回転後、地の目が合わない場合は注意を促すメッセージが表示される。

※ Ctrl キーを押しながら回転すると、45° ずつ回転する。

◆マーキング結果をプリント出力する

※ マーキング画面では印刷設定の際に、マーキング結果を出力する図枠をつけることができる。

<マーキング図枠イメージ>



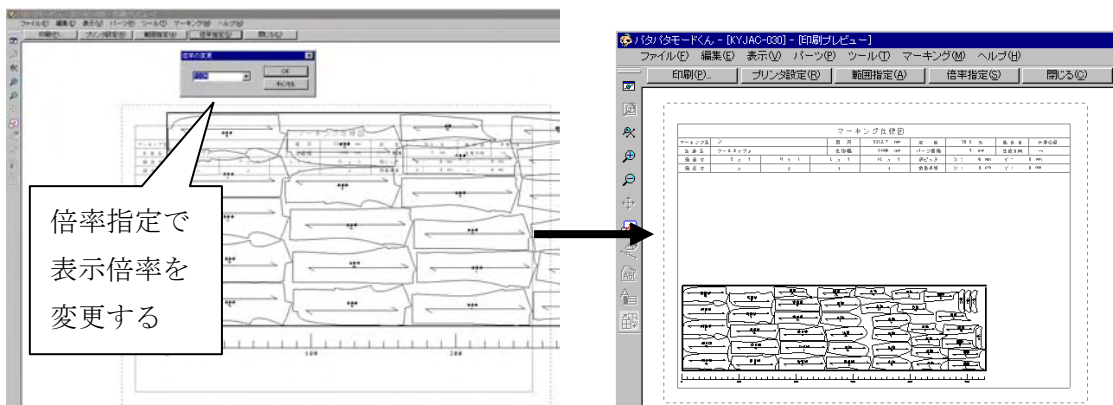
※ 図枠は A4 サイズとする。

※ パーツ名、号数はパーツ内に描かれ、その他のデータは図枠内に出力される。

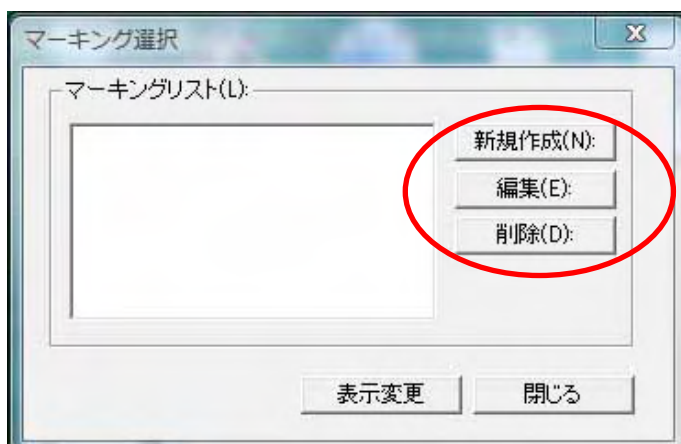
※ 印刷プレビューにて出力内容を確認することができる。

※ 通常のパターン出力したい場合は、マーキング以外の画面に切り替えて行う。

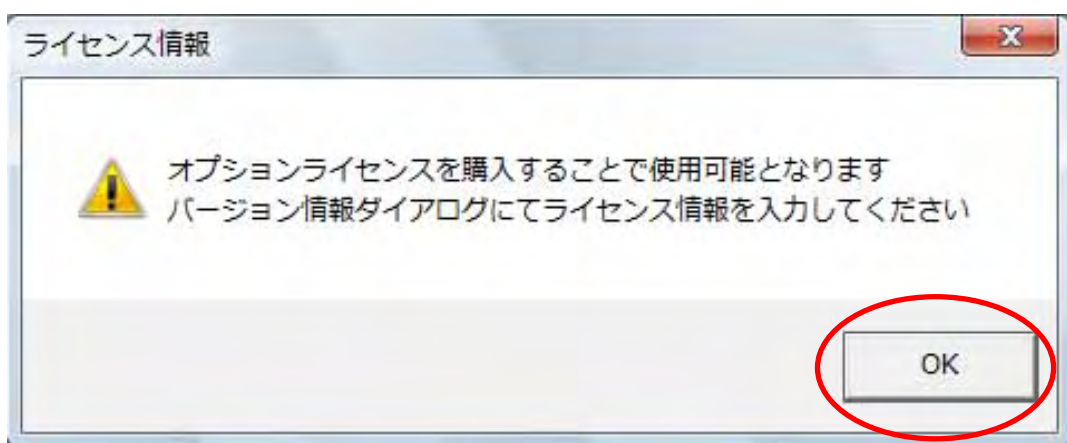
※ A4 用紙枠に入りきらない場合は「倍率指定」ボタンを押して、倍率を小さくする。



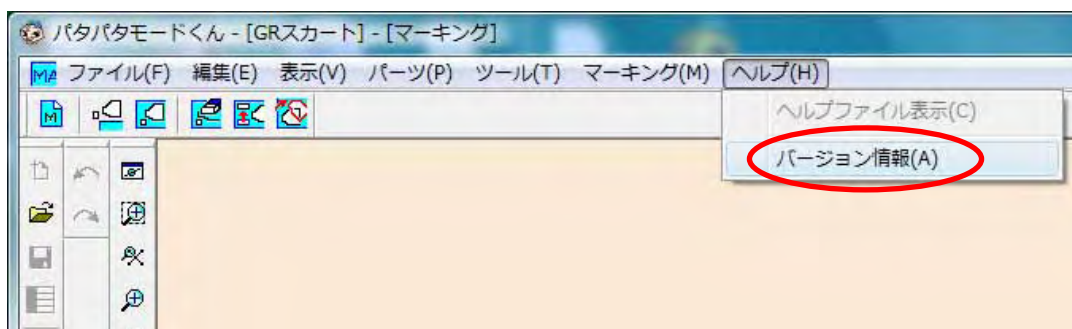
●マーキングオプションの申込み方法



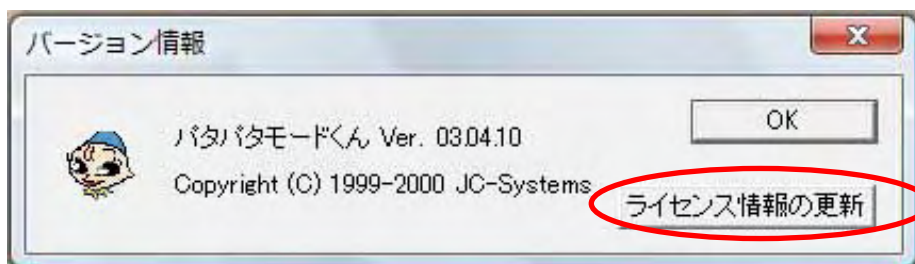
① 条件設定で、新規作成や修正などをクリックすると、次のダイアログが表示されます。



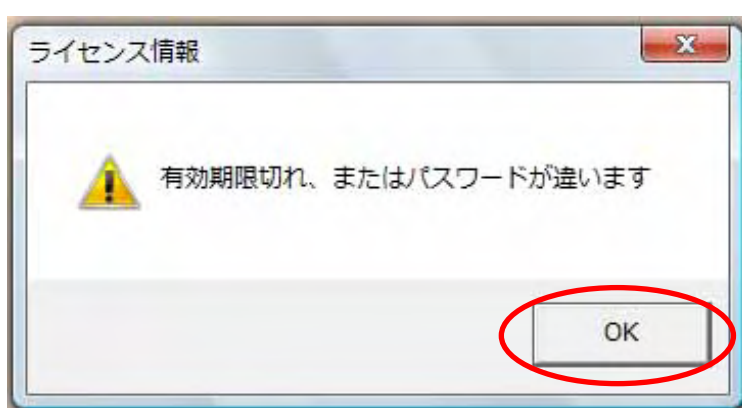
② OK をクリックします。



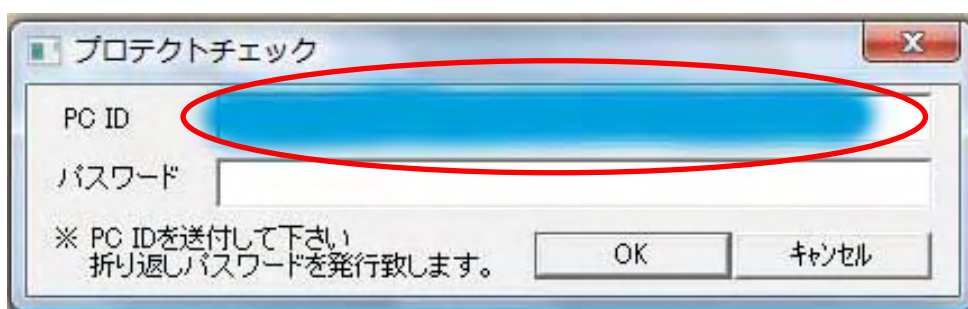
③ メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックします。



- ④ ライセンス情報の更新をクリックします。



- ⑤ 初めてご利用になる場合や、期限が切れている場合に、上記のダイアログが表示されますので、OKをクリックします。



- ⑥ PC ID の枠の中に、英数字が羅列されますので、それを選択してコピーし、メールに貼り付けて、ジェイシーシステムに送信してください。
- ⑦ ジェイシーシステムよりパスワードが届きましたら、パスワードの枠の中に入れて、OKをクリックすると、オプション機能が使えるようになります。